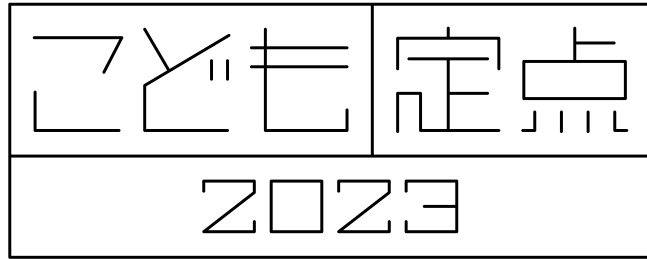


K O D O M O T E I T E N



博報堂教育財団

こども研究所

はじめに

2023年の出生数(速報値)は75万8,631人と8年連続で減少し、過去最少となりました。少子高齢化が進展するにつれて、社会の中で子どもの姿が見えにくくなっているように感じられます。果たして、今の子どもたちは、ふだん何をして、何を感じ、考えているのだろうか?そして、VUCA*の時代と言われ、激変する社会の中で、子どもたちはこれからどう変わる(あるいは変わらない)のだろうか?そんな素朴な問いから、この「こども定点」は生まれました。

「こども定点」は、子どもを“体験を通して自ら成長する主体的な存在”と捉え、子どもの体験を通して形成される価値観や心の変化などを時系列で把握する調査として、2019~2021年に実施した「子どもの体験と認識に関する年次定点調査」をリニューアルする形で、2023年度からスタートしました。同じ条件の対象者に対し同じ質問で継続的に実施することで、データを蓄積し、中長期的な子どもの変化をみることを目的としています。本レポートは、その初年度調査の結果をまとめたもので、これからの変化をみるためのスタート地点となります。

調査は、5つの質問分野で構成されています。ふだん何をしているかなどを訊ねる「体験」、体験とともに生まれる「人との関わり」、体験を通して形成される「価値観」や「自己認識」、そして自分と自分の置かれている環境について総合的にどう感じているのかをたずねる「総合評価」です。質問項目を作るにあたっては、さまざまな学校、教育関連の調査を参照しつつ、弊財団の母体である博報堂の「生活者」を捉える視点も参考にして、子どもに関わる人だけでなく、子どもにふだん接することのない人、また子ども自身にとっても理解しやすい、平易な内容を心掛けました。

本レポートが、2023年に生きる「子ども」を俯瞰して見つめる一助となれば幸いです。

公益財団法人 博報堂教育財団

常務理事 中馬 淳

*VUCA Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の4つの単語の頭文字をとった造語で、先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態のこと

博報堂教育財団 こども研究所

博報堂教育財団こども研究所は、弊財団の調査研究事業の一環で、2017年に設立されました。独自の調査や実験的な取り組みによって子どもの姿をありのままに捉え、子どもたちの可能性について新たな発見をし、それを社会と共有することで、子どもに対する見方やイメージの枠を広げていくことを目指しています。

こども研究所ホームページでは、調査研究の結果を広く公開しています。

<https://kodomoken.hakuhodofoundation.or.jp/>

公益財団法人 博報堂教育財団

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査を行うことで、健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に財団法人博報児童教育振興会として誕生いたしました。その後、2011年に公益認定を受け、2020年に現在の名称に変更しました。

設立から50年以上を経た今日では、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、設立以来の事業である、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」「海外の子どもたちとの日本語交流や日本語教育支援」「社会啓発事業」「調査研究事業」など、さまざまな活動を行っています。

目次

はじめに	2	
目次	4	
調査設計	5	
回答者プロフィール	6	
質問分野別に見る		
体験	ふだんしていること	8
	これからしたいこと	10
	よくする趣味や遊び	12
	している習いごと・習いごとの好き嫌い	14
	●コラム 01 〈していること〉と〈したいこと〉	15
人との関わり	ふだん接している人	16
	好きな人	18
	参考にする考えや意見	20
	まわりの人との関係性	22
	●コラム 02 お父さんvsお母さん	23
価値観	帰属意識	24
	大切だと思うもの	26
自己認識	いまの自分	28
	なりたい自分	30
	自己評価	32
	●コラム 03 〈いまの自分〉6学年変化	33
	●コラム 04 〈なりたい自分〉と〈いまの自分〉	34
総合評価	自分満足度・生活満足度・しあわせ度	35
	●コラム 05 〈しあわせ度〉6学年変化	36
調査対象別に見る		
小学生男子	38	
小学生女子	40	
中学生男子	42	
中学生女子	44	
こども定点2023 調査項目リスト	46	

調査設計

調査手法 …… インターネット調査

調査エリア …… 全国

調査対象者 …… 小学4年生～中学3年生の男女：2,400人

割付 …… 1学年あたり男子・女子 各200人×6学年

(人)

学年	性別		計
	男子	女子	
小学4年生	200	200	400
小学5年生	200	200	400
小学6年生	200	200	400
中学1年生	200	200	400
中学2年生	200	200	400
中学3年生	200	200	400
合計	1,200	1,200	2,400

※子どもの保護者2,400人(1学年あたり父親・母親 各200人×6学年)にも、兄弟構成や子どもが通っている学校種別、子どもと一緒に過ごす時間などの属性項目を聴取している。

調査実施時期 …… 2023年9月15日～10月10日

企画・分析 …… 公益財団法人 博報堂教育財団 こども研究所

実施・集計 …… 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

調査パネル …… 株式会社 マクロミル

回答者プロフィール

◎ 子ども

兄弟人数

(%)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	平均(人)
全体(2,400人)	22.2	53.1	19.8	4.0	0.5	0.4	2.09

兄弟構成

(%)

	いちばん上	上と下に 兄弟がいる	いちばん下	ひとりっ子
全体(2,400人)	33.6	8.9	35.3	22.2

学校種別

(%)

	公立 小学校	私立 小学校	国立 小学校	公立 中学校	私立 中学校	国立 中学校	その他
全体(2,400人)	47.9	1.5	0.5	45.0	4.3	0.6	0.1

学校形態

(%)

	男女共学	男女別学 (男子校・ 女子校)
全体(2,400人)	98.1	1.9

居住地

(%)

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
全体(2,400人)	4.5	5.3	34.0	18.4	19.2	5.7	2.7	10.2

◎ 保護者

年代

(%)

	20代	30代	40代	50代 以上
父親(1,200人)	—	9.9	59.8	30.3
母親(1,200人)	0.3	23.8	63.1	12.8

質問分野別に見る

体験

人との
関わり

価値観

自己
認識

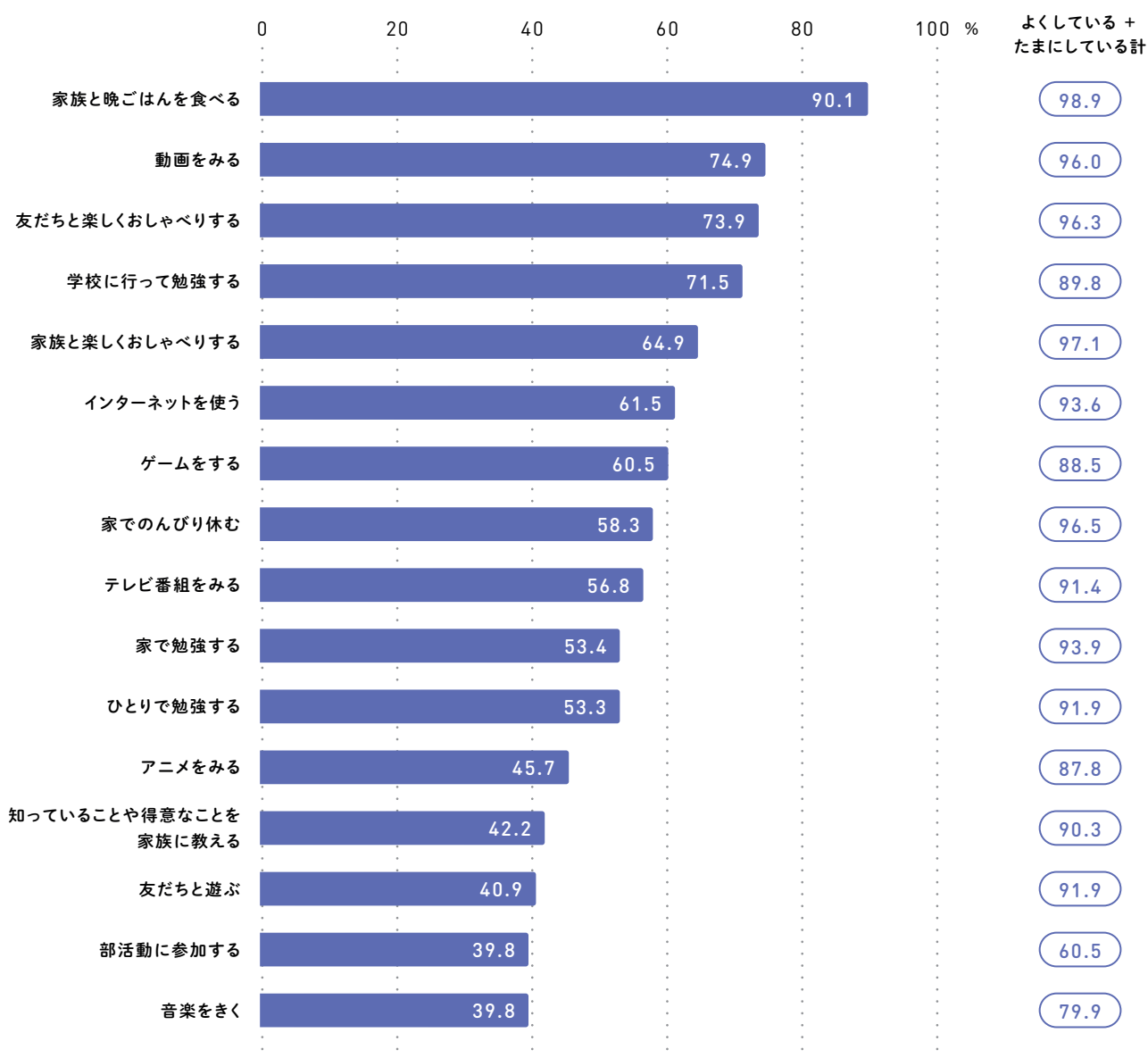
総合
評価

「動画をみる」のは生活の一部

- 「家族と晩ごはんを食べる」「友だちと楽しくおしゃべりする」「学校に行って勉強する」などの日常行動が上位にあがる中、「動画をみる」が2位に。
- 小中別で見ると、小学生は家族との行動、中学生は部活動やSNSなど家族以外との行動の高さが特徴的。
- 男女別で見ると、男子はゲームやスポーツ、女子はファッションや美容、推し活が高い。

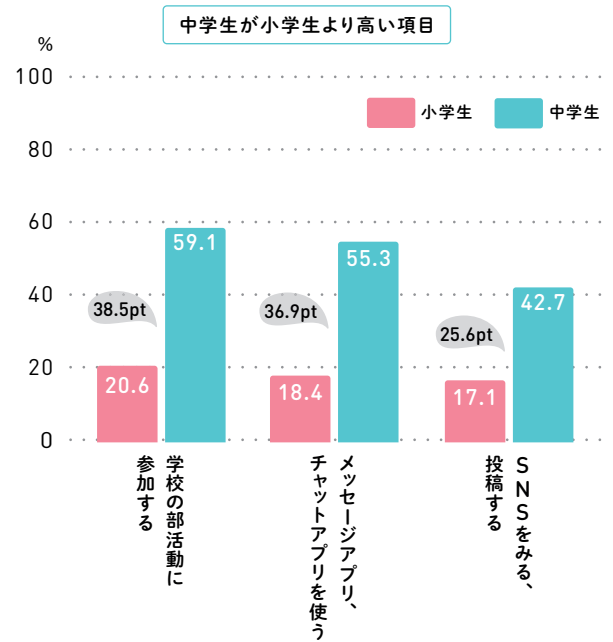
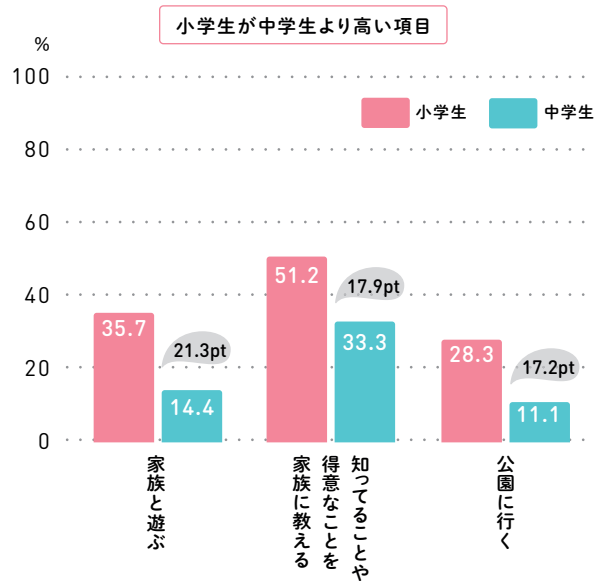
Q. あなたはふだん、どんなことをしていますか。

全体（よくしている TOP15）

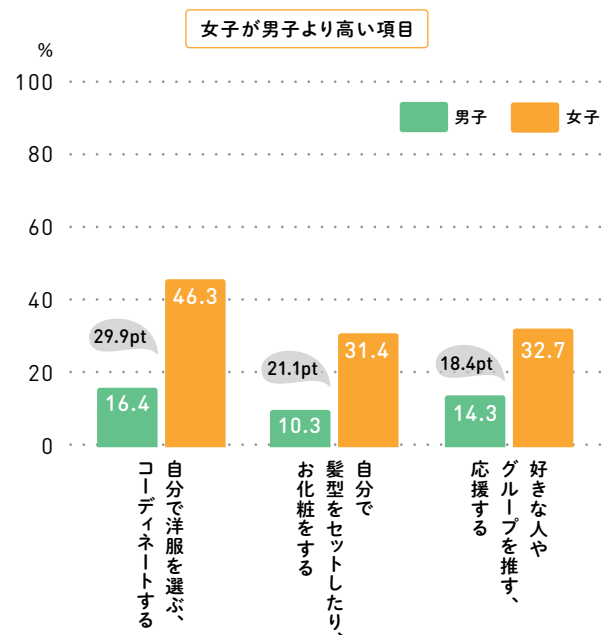
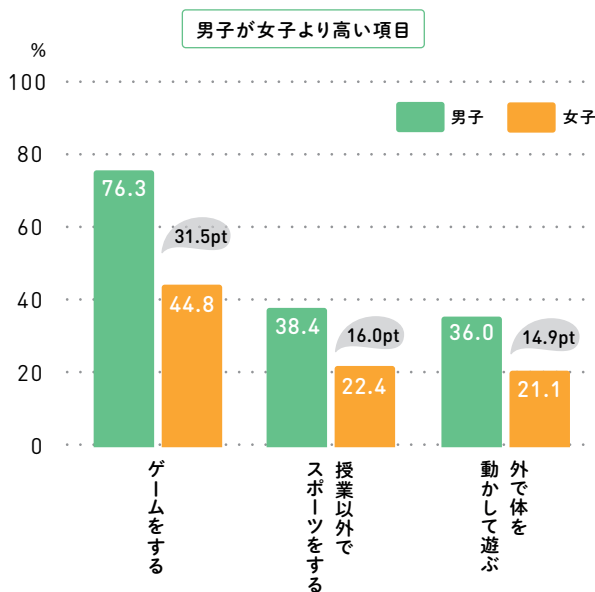




小中別（よくしている 差分TOP3）



男女別（よくしている 差分TOP3）

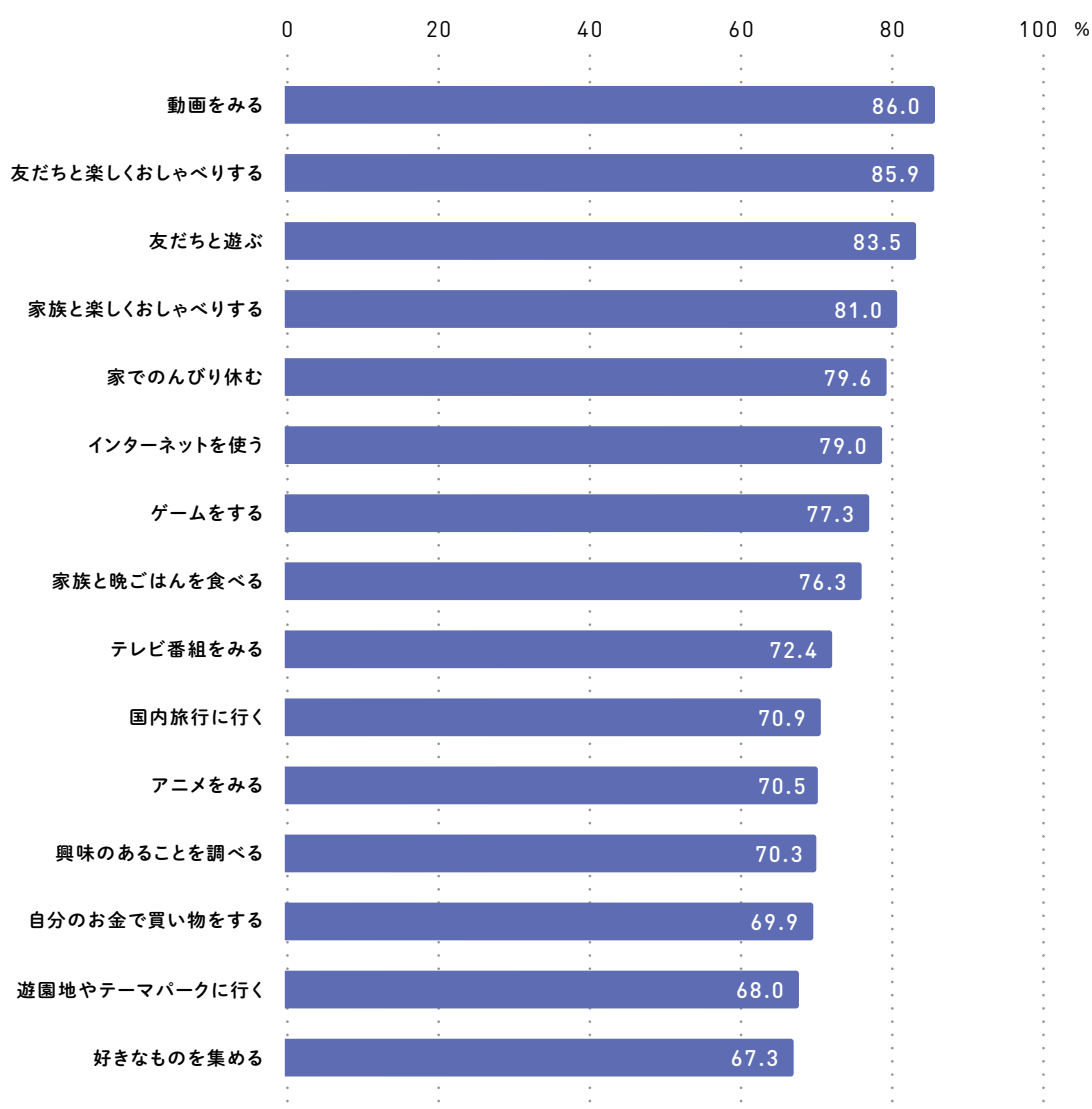


トップは「動画をみる」

- 「動画をみる」以外に「友だちと楽しくおしゃべりする」「友だちと遊ぶ」「家族と楽しくおしゃべりする」が8割台。
- 小中別で見ると、小学生は「公園に行く」「授業以外で絵をかく、工作する、ものを作る」といったリアルな行動が、中学生は「メッセージアプリ、チャットアプリを使う」「SNSをみる、投稿する」といったネット上での行動が高いのが特徴的。
- 男女別で見ると、男女とも〈ふだんしていること(よくしている)〉の差分TOP3と同じ項目があがる。女子は美容やファッションに関する項目が、男子より40pt以上高い。

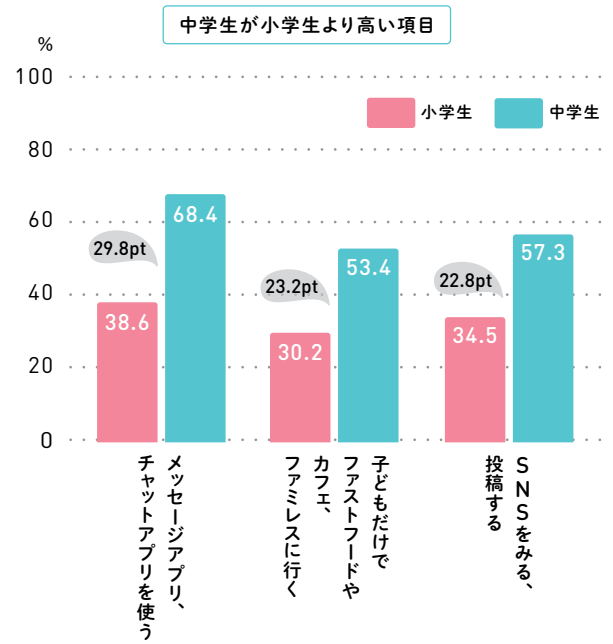
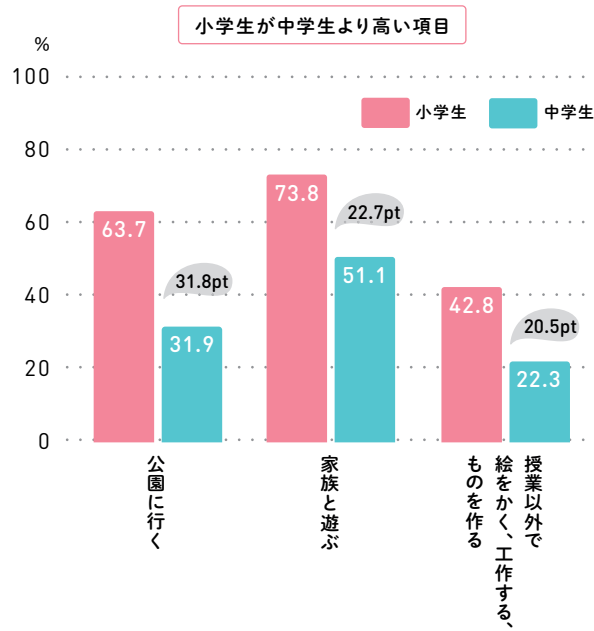
Q. あなたが、これからしたいと思うことはなんですか。

全体 (TOP15)

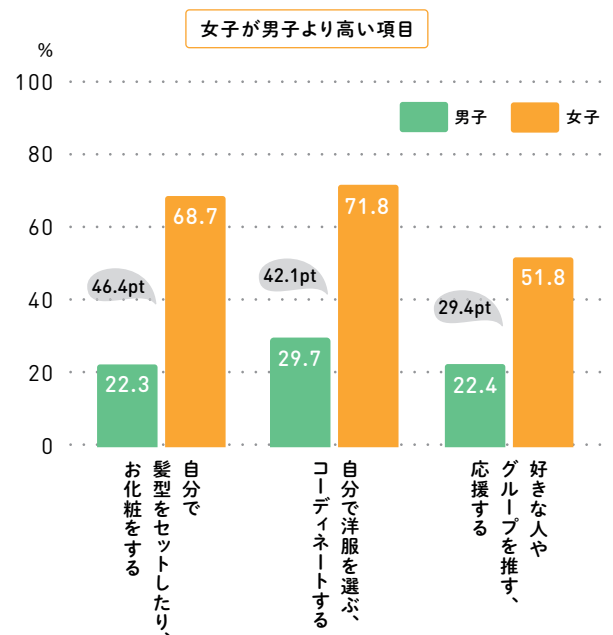
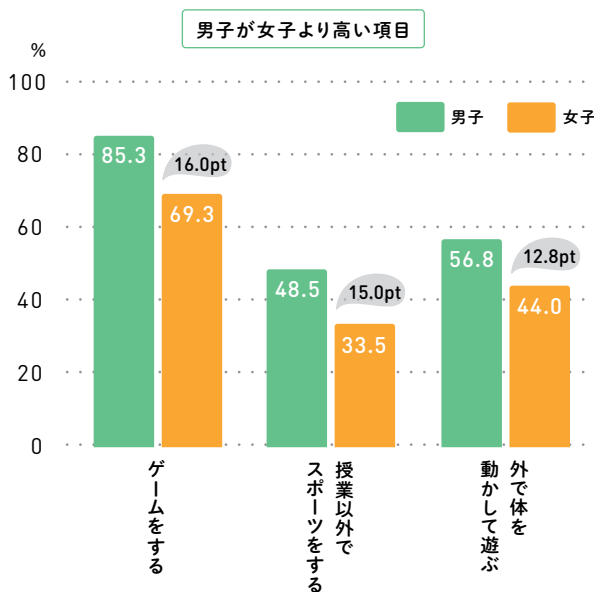




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）

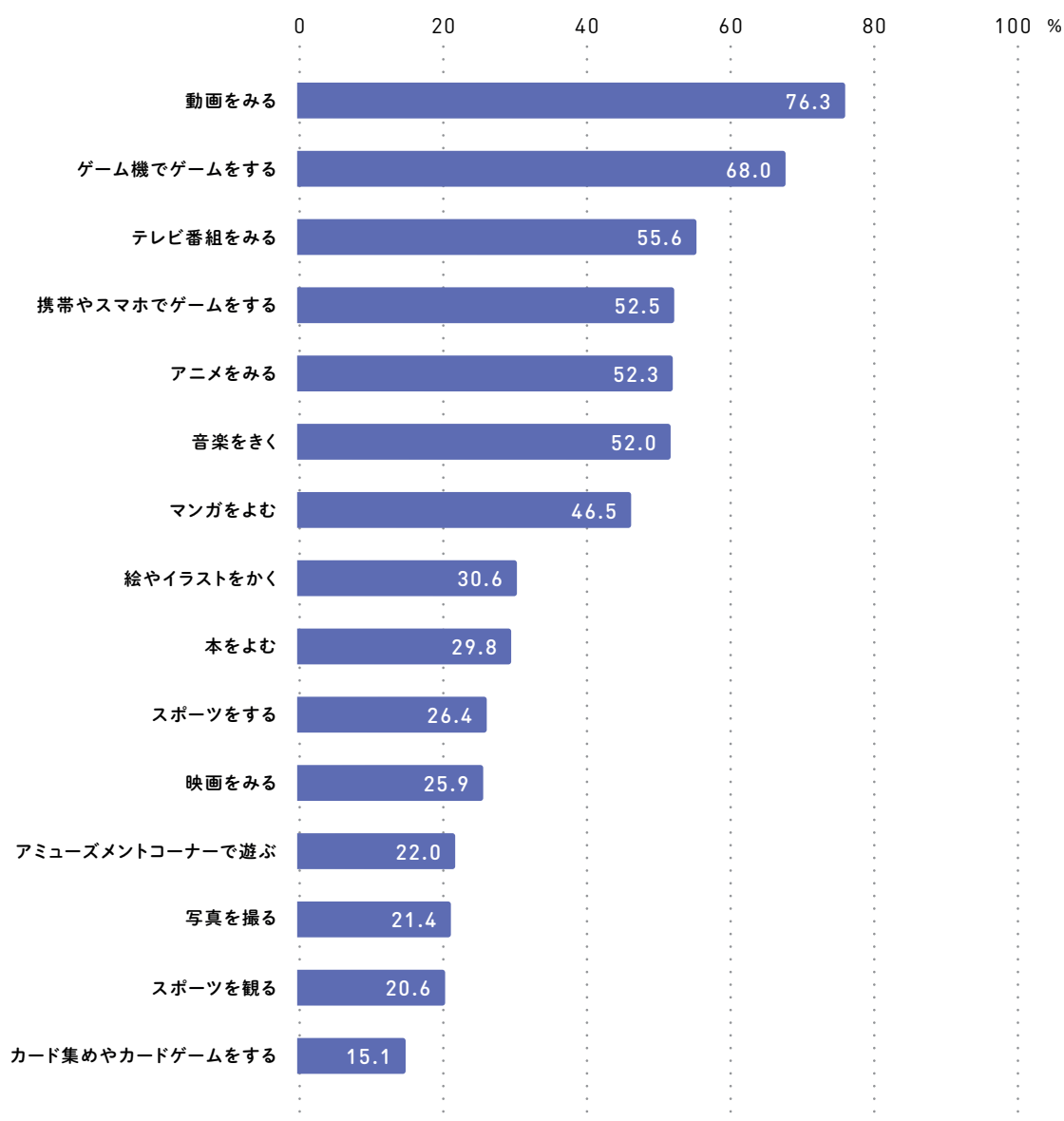


「動画をみる」はここでも1位

- 「動画をみる」に加え、「ゲーム機でゲームをする」「携帯やスマホでゲームをする」といったゲーム関連や「テレビ番組をみる」が上位。
- 男女別で見ると、全体のゲーム関連のスコアを牽引しているのは男子ということがわかる。一方、女子は絵や音楽、写真といった文化系が高い。

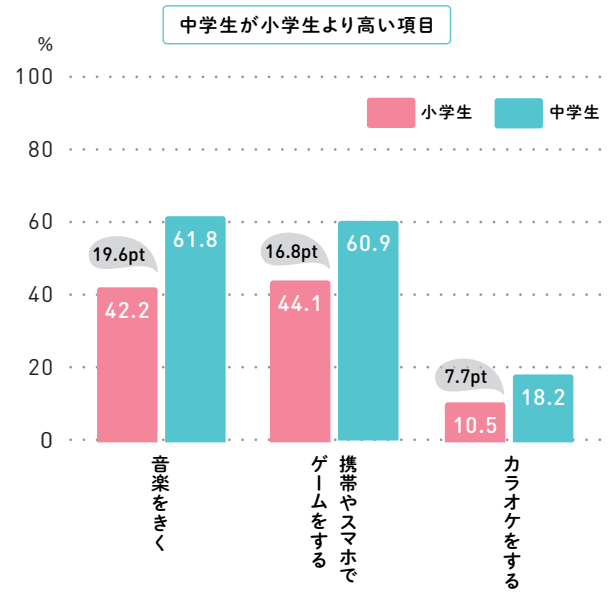
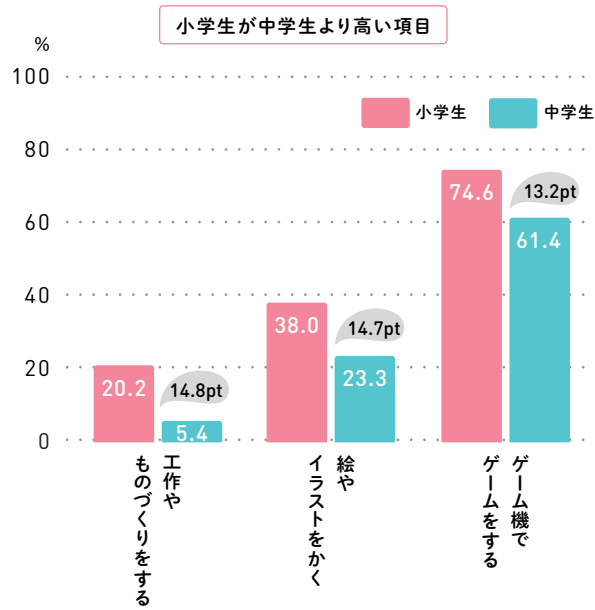
Q. あなたが、学校の授業以外で、よくする趣味や遊びはどれですか。

全体 (TOP15)

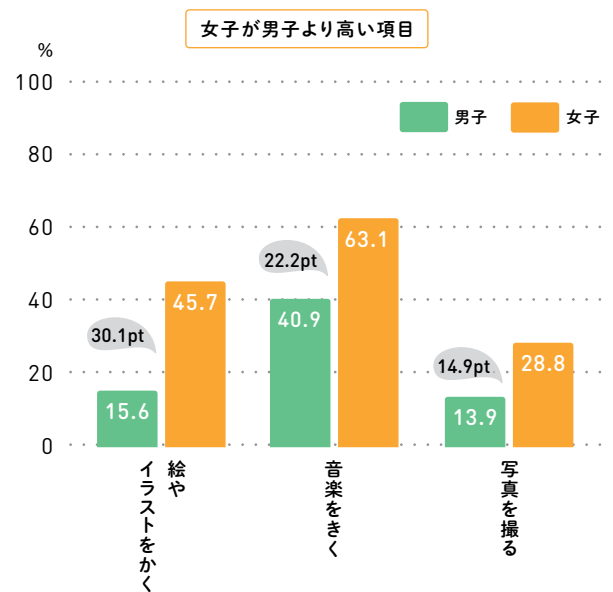
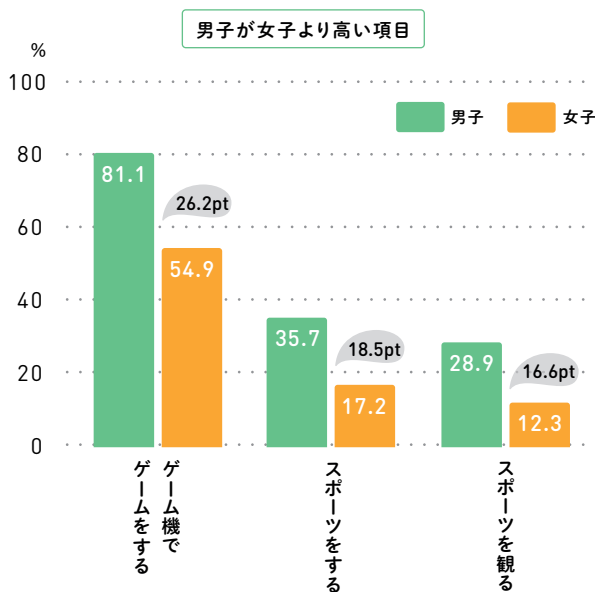




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）



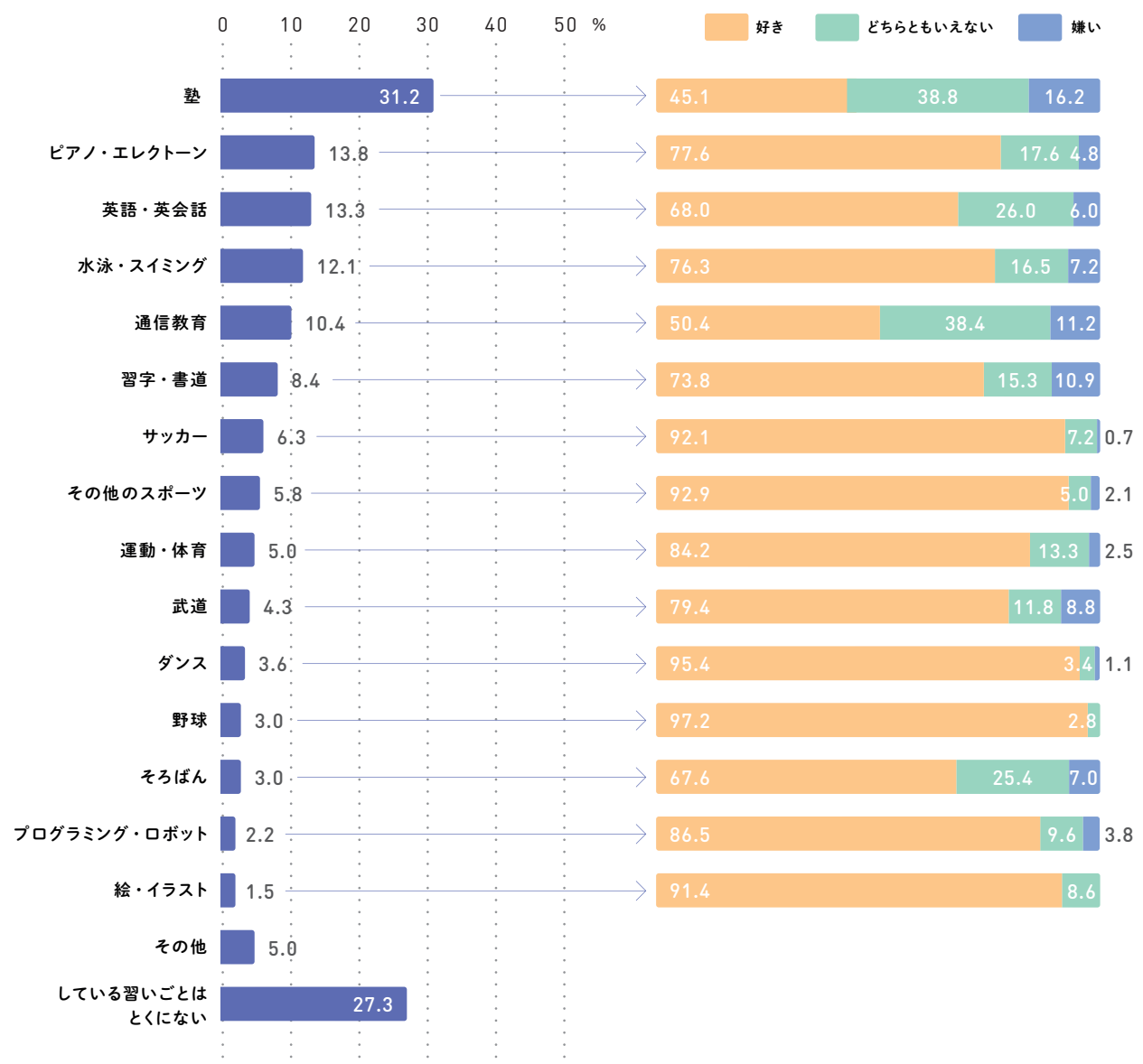
ダントツ「塾」通い

- している習いごとでは、「塾」が3割で突出。その他はいずれも1割以下と細分化している。
- 「好き」の割合は、「野球」「ダンス」「サッカー」などのスポーツ系が高く、「通信教育」「塾」といった学習系は低め。

Q. あなたが、している習いごとはなんですか。その習いごとは好きですか。

全体 (TOP15)

好き嫌い



〈していること〉と〈したいこと〉

もっと友だちとしゃべりたい、遊びたい。

体験の実態〈ふだんしていること（よくしていること+たまにしていること計）〉と意向〈これからしたいこと〉で順位を比較すると、実態では家族関連が友だち関連を上回っていますが、意向では家族と友だちが逆転。家族にも増して友だちとの関わりを求める子どもたちの気持ちがうかがえます。



また、TOP15の顔ぶれを比較すると、実態にある「勉強」に関する項目が意向では姿を消し、代わって「国内旅行に行く」「自分のお金で買い物をする」「遊園地やテーマパークに行く」など、レジャー関連が登場するのは容易に想像しやすく、納得の結果です。

ふだんしていること
(よくしている+たまにしている計)
全体 (TOP15)

- 1 家族と晩ごはんを食べる
- 2 家族と楽しくおしゃべりする
- 3 家でのもんびり休む
- 4 友だちと楽しくおしゃべりする
- 5 動画を見る
- 6 家で勉強する
- 7 インターネットを使う
- 8 ひとりで勉強する
- 8 友だちと遊ぶ
- 10 テレビ番組をみる
- 11 知っていることや得意なことを家族に教える
- 12 興味のあることを調べる
- 13 学校に行って勉強する
- 14 ゲームをする
- 15 アニメをみる

これからしたいこと
全体 (TOP15)

- 1 動画を見る
- 2 友だちと楽しくおしゃべりする
- 3 友だちと遊ぶ
- 4 家族と楽しくおしゃべりする
- 5 家でのもんびり休む
- 6 インターネットを使う
- 7 ゲームをする
- 8 家族と晩ごはんを食べる
- 9 テレビ番組をみる
- 10 国内旅行に行く
- 11 アニメをみる
- 12 興味のあることを調べる
- 13 自分のお金で買い物をする
- 14 遊園地やテーマパークに行く
- 15 好きなものを集める

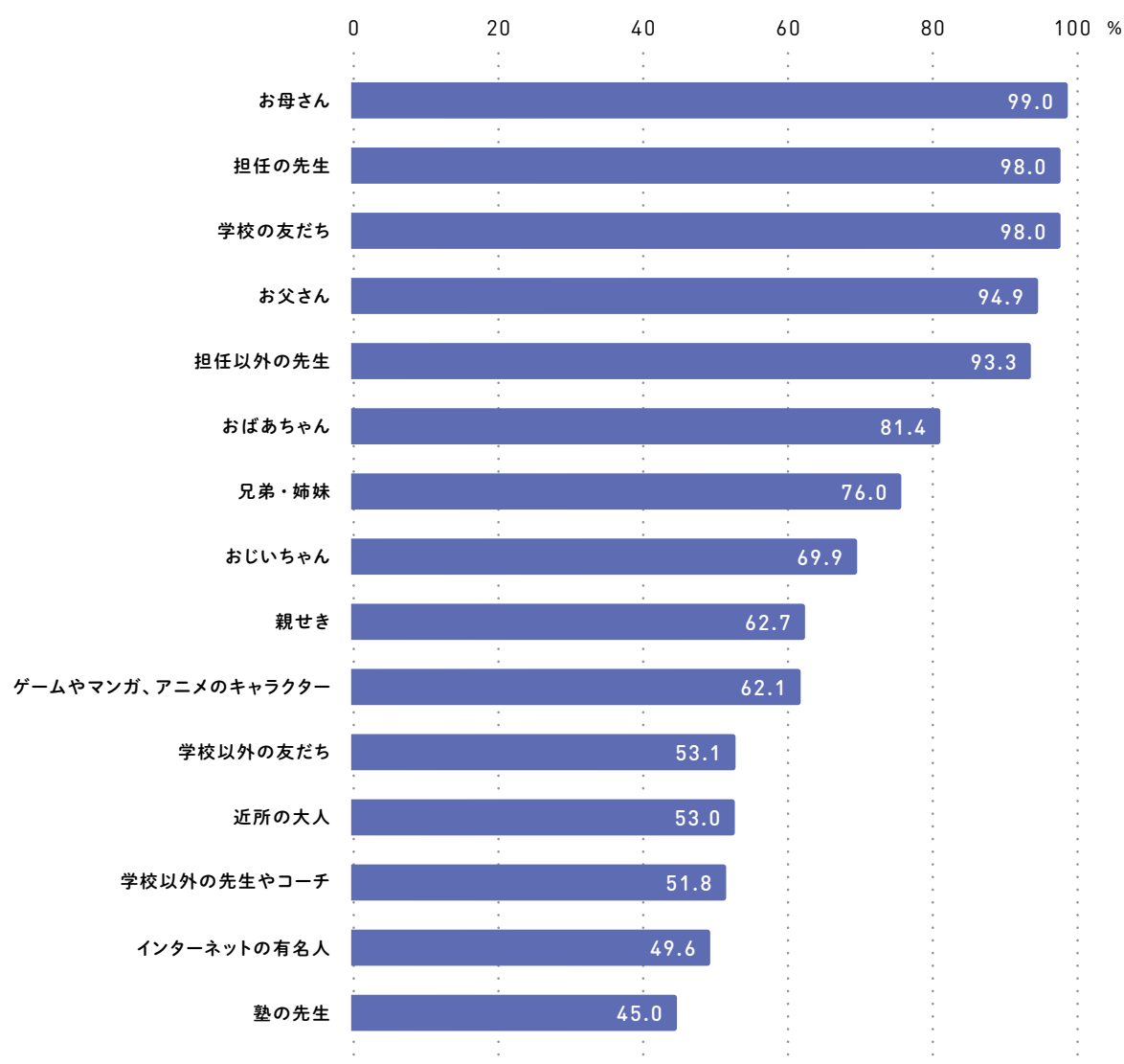
家族
 〈ふだんしていること〉のみランクインした項目
 友だち
 〈これからしたいこと〉のみランクインした項目

「お母さん」「担任の先生」 「学校の友だち」が3強

- 「お父さん」は4位。
- 小中別で見ると、小学生は「近所の大人」「おじいちゃん」など身近な人物が高い。
- 男女別で見ると、男子は「スポーツ選手」「ゲームやマンガ、アニメのキャラクター」、女子は「歌手・ミュージシャン」「小説や物語の登場人物」が高い。

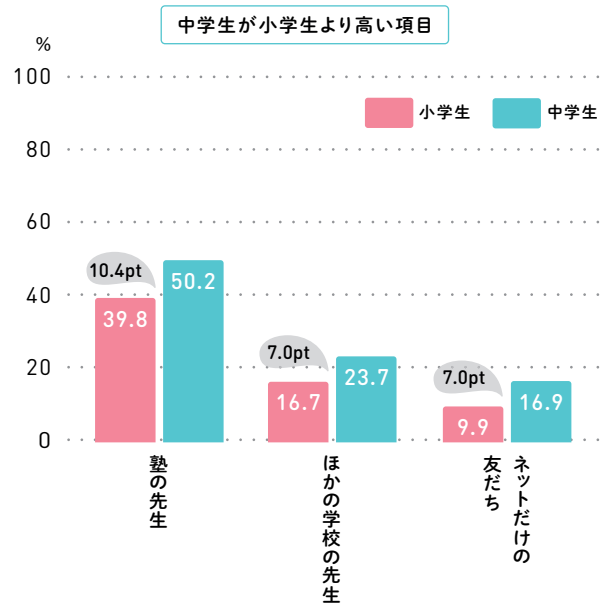
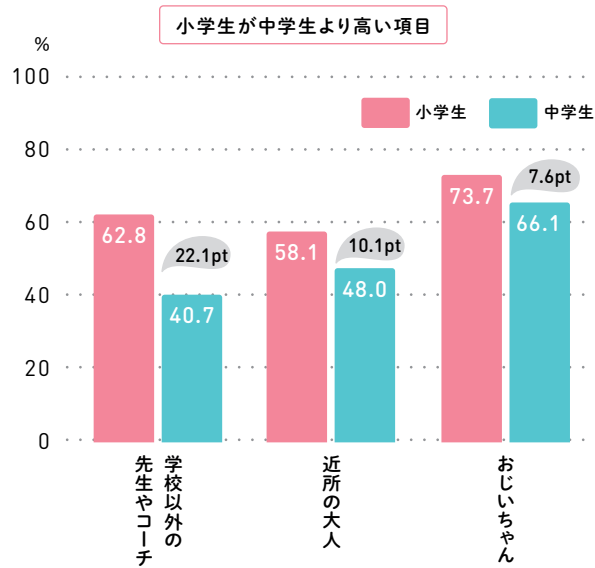
Q. あなたはふだん、どんな人と接していますか。

全体 (TOP15)

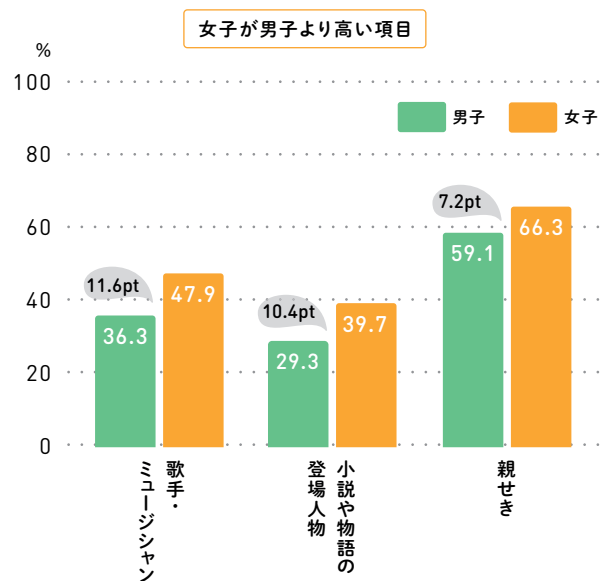
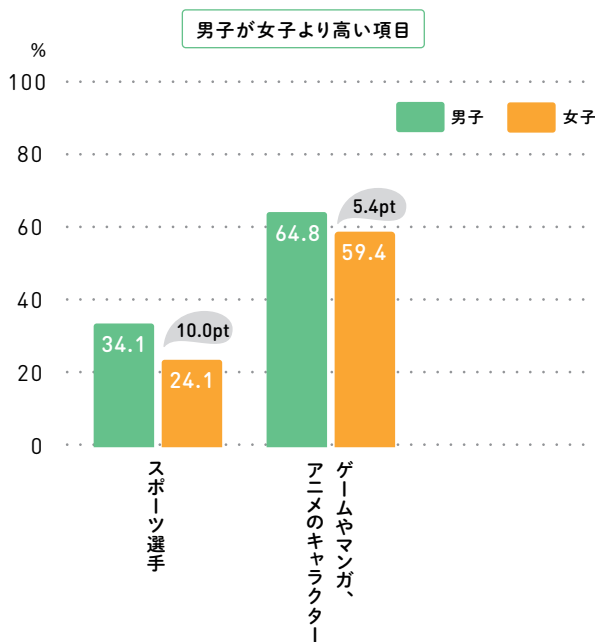




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）

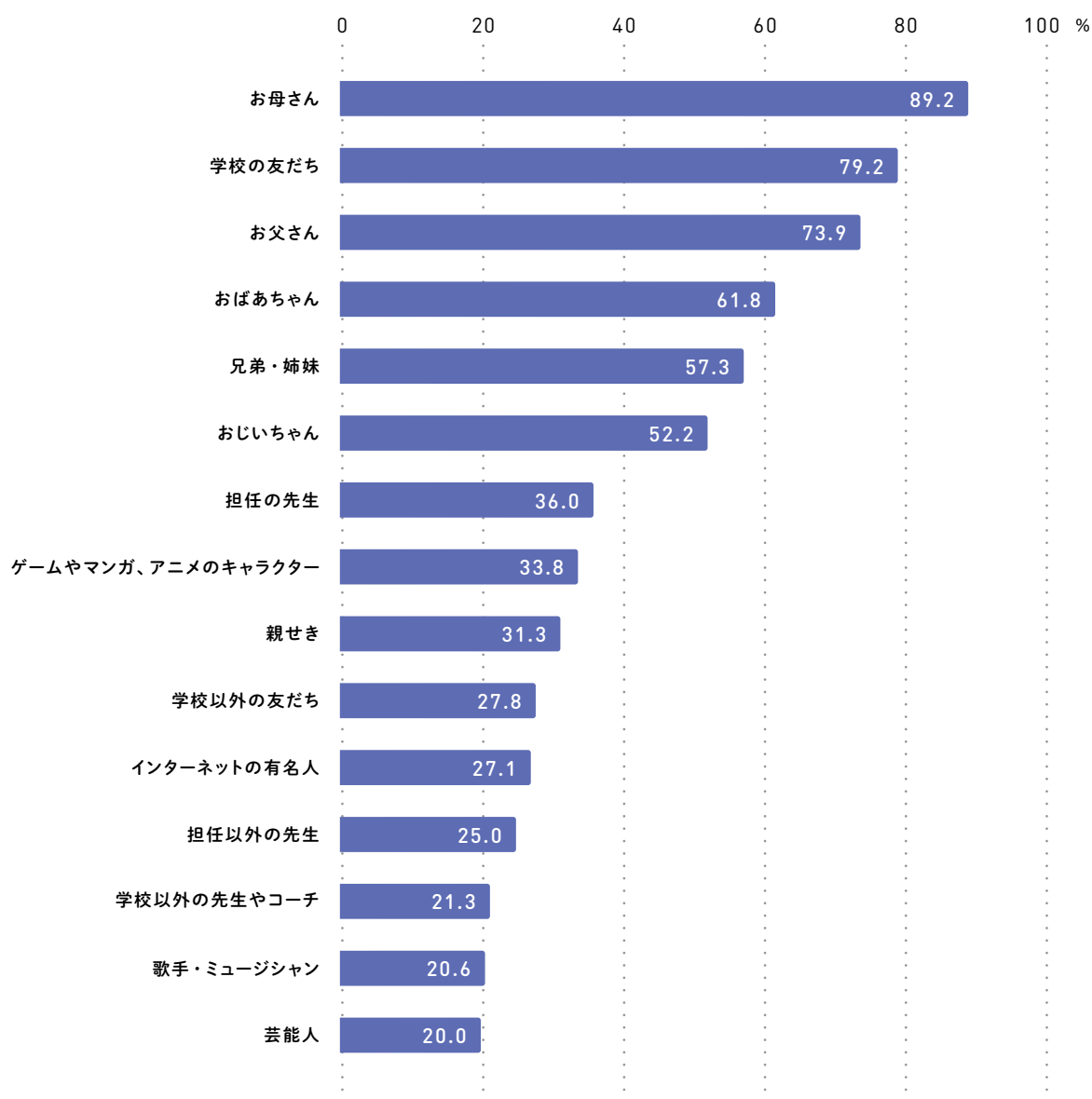


「お母さん」、大好き

- 「お母さん」が突出。次いで「学校の友だち」「お父さん」の順。
- 小中別で見ると、小学生は「先生」「お父さん」など身近な人物が高い。
- 男女別で見ると、男子はスポーツ系、女子は文化系の人物が高め。

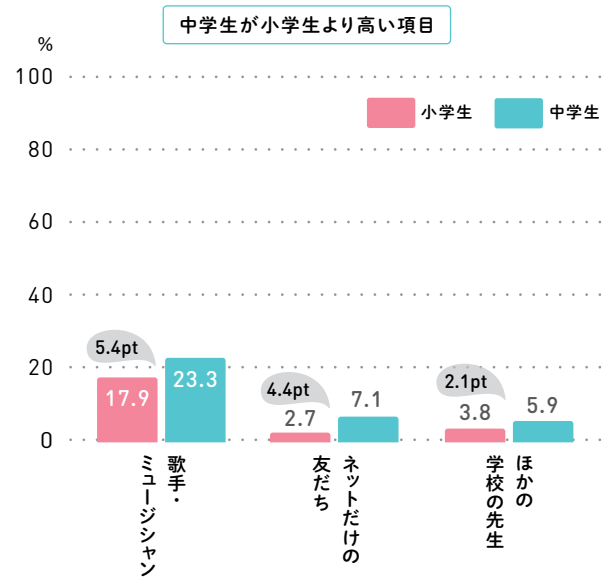
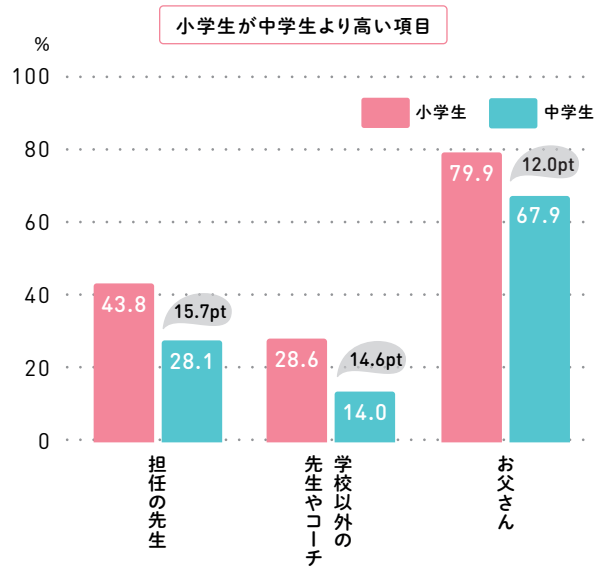
Q. ふだん接している人の中で、あなたが好きな人はだれですか。

全体 (TOP15)

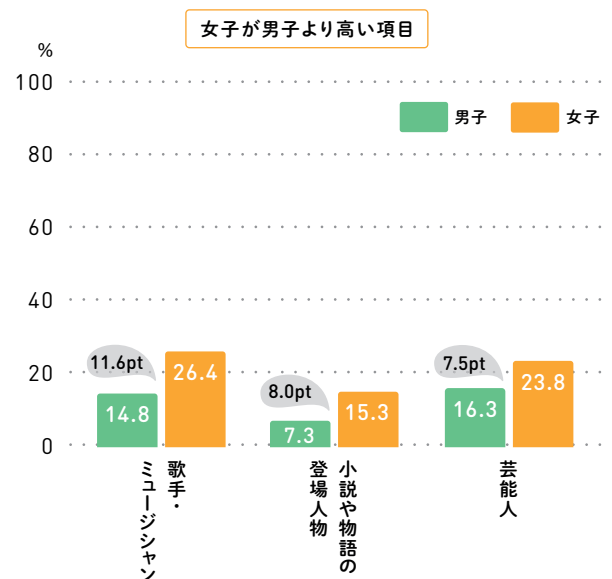
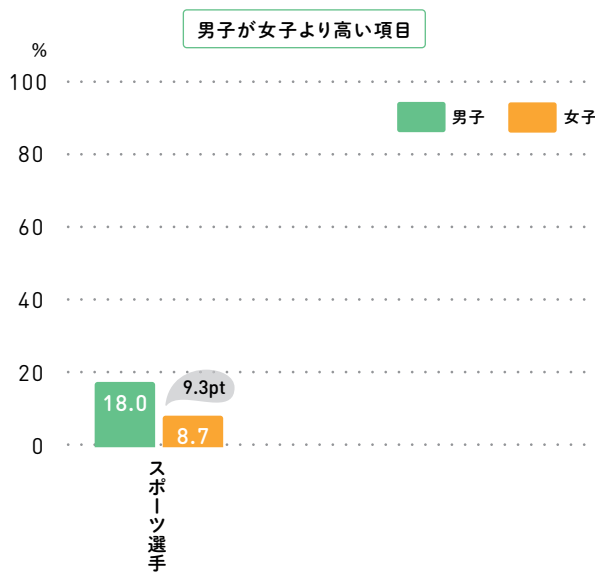




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）

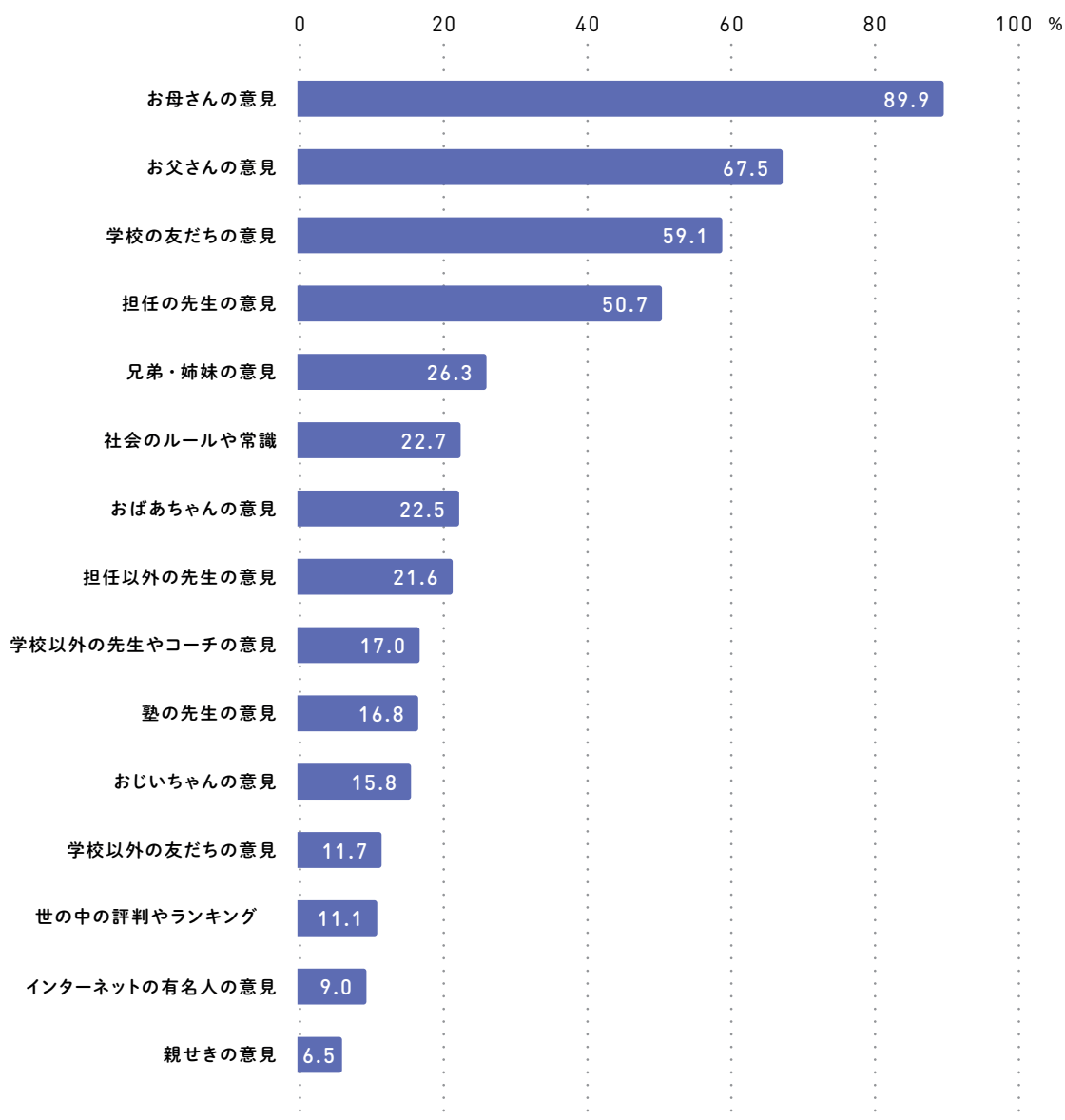


「お母さん」の意見、強し

- 2位には、「学校の友だち」「担任の先生」を抑え、「お父さん」の意見が浮上。
- 小中別で見ると、小学生は「学校以外の先生やコーチ」「担任の先生」「お父さん」の意見が高く、中学生は「学校の友だち」「塾の先生」「担任以外の先生」の意見が高い。
- 男女別で見ると、男子は「お父さん」、女子は「学校の友だち」の意見が高い。

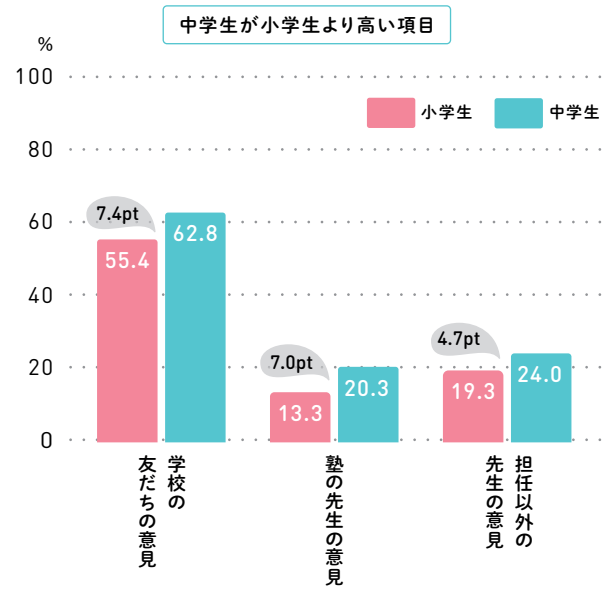
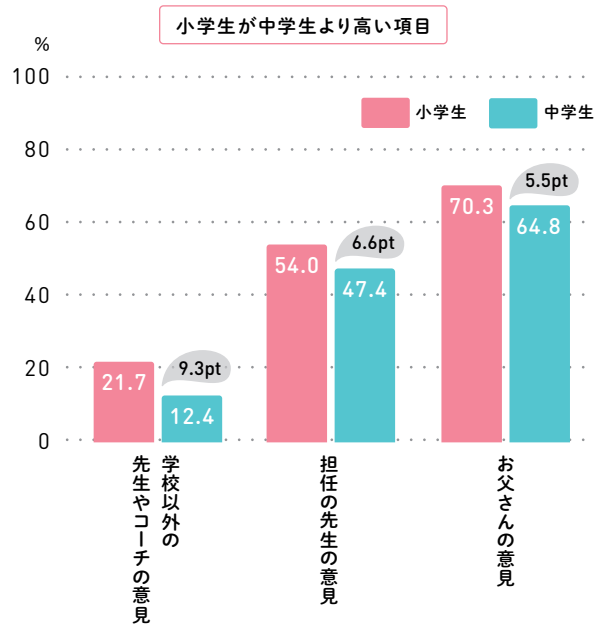
Q. ふだんあなたが何かをしたり、決めたりするときに、参考にする考えや意見はどれですか。

全体 (TOP15)

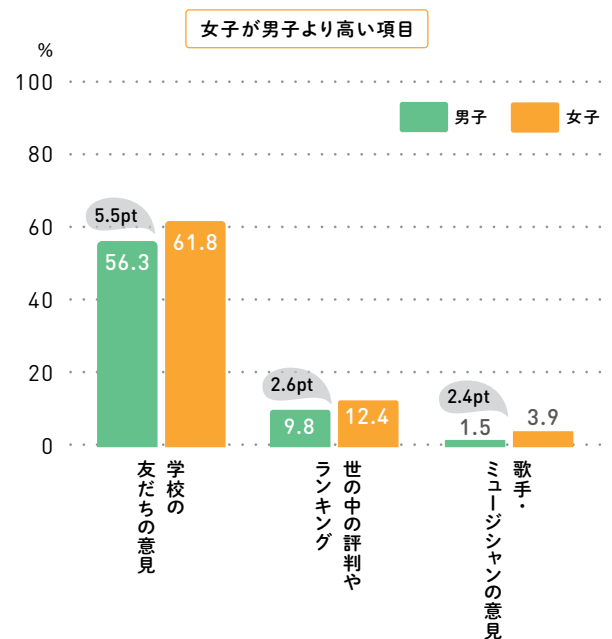
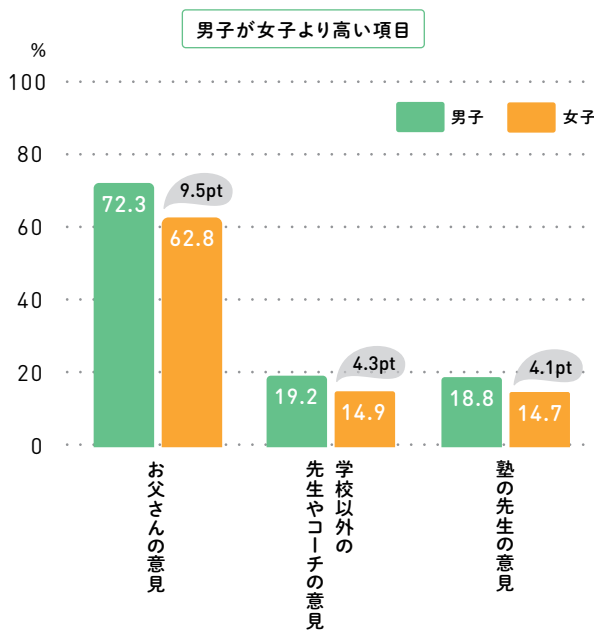




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）



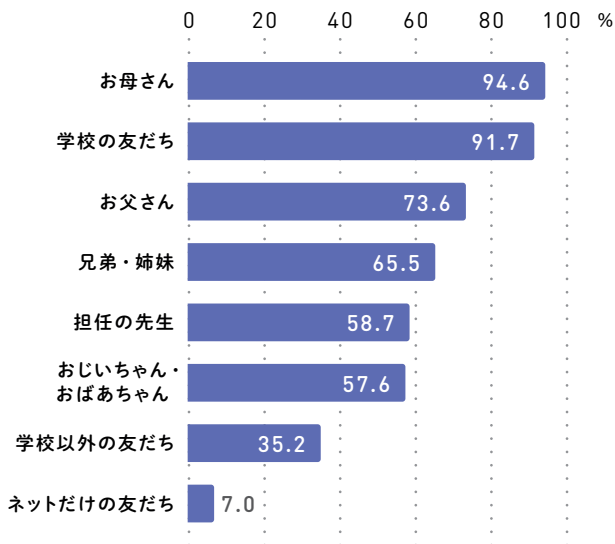
理解者は「お母さん」、 けんか相手は「兄弟・姉妹」

- 〈よく話をするほうだ〉〈自分のことをよくわかってきていると思う〉〈困ったことや悩みを相談できる〉の上位3位はいずれも「お母さん」「学校の友だち」「お父さん」の順。

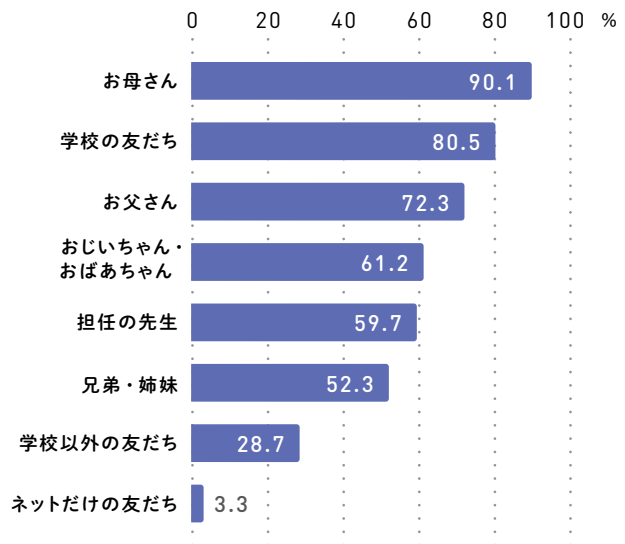
Q. あなたはまわりの人とどのような関係ですか。

全体

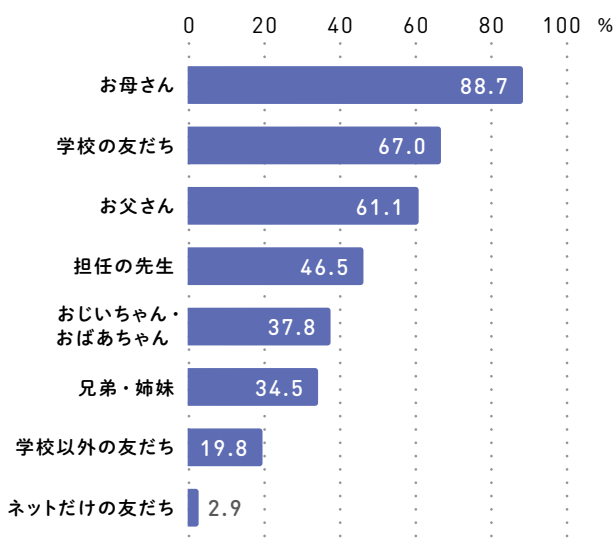
よく話をするほうだ



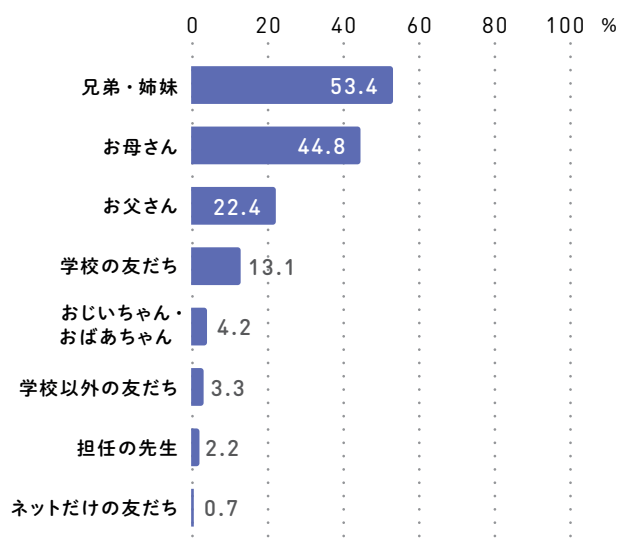
自分のことをわかってきていると思う



困ったことや悩みを相談できる



よくケンカする

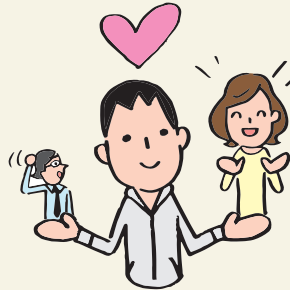


お父さん vs お母さん

「お母さん」の圧倒的存在感。

前出の通り「お母さん」は、〈ふだん接している人〉はもちろん、〈好きな人〉〈参考にする考えや意見〉〈まわりの人との関係性〉のいずれにおいても圧勝でした。

興味深いのは、学年が上がるとスコアが低くなる「お父さん」に対して、「お母さん」は、男女を問わず、学年が上がってもスコアが高止まりしていること。〈よく話をするほうだ〉は中3男子でも9割台

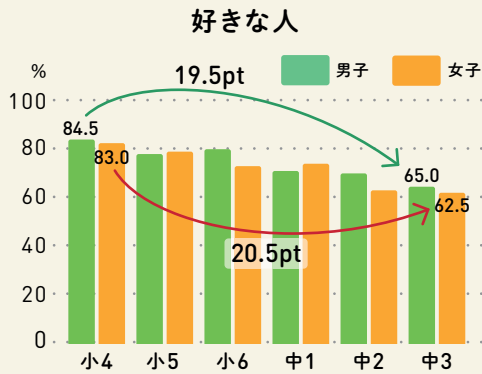


です。

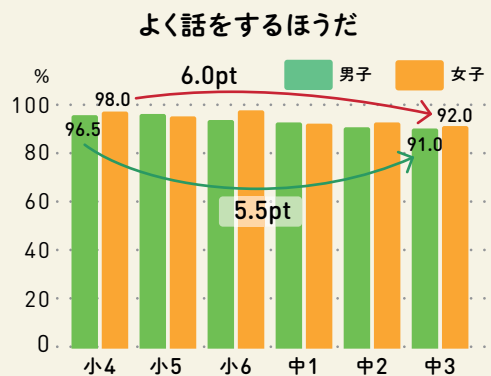
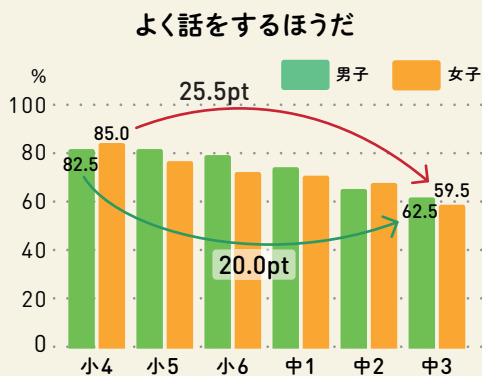
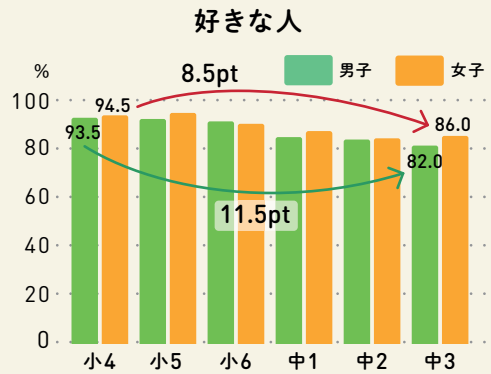
その訳を探るため、保護者調査の〈子どもと一緒に過ごす時間〉を見ると、母親と父親には大きな差がありました。父母の差は共有する時間の長さだけが理由ではないでしょうが、近年

進む父親の子育て参加によって一緒に過ごす時間ももっと増えれば、父親と子どもの関係性も変わるかもしれません。

お父さん



お母さん



保護者調査：
子どもと一緒に
過ごす時間
(一日平均)

		全体	小学生	中学生	男子	女子
平日	父親	2.74	3.02	2.46	2.77	2.71
	母親	5.24	5.98	4.50	5.09	5.38
休日	父親	7.55	9.33	5.75	7.53	7.56
	母親	9.60	11.45	7.76	9.25	9.96

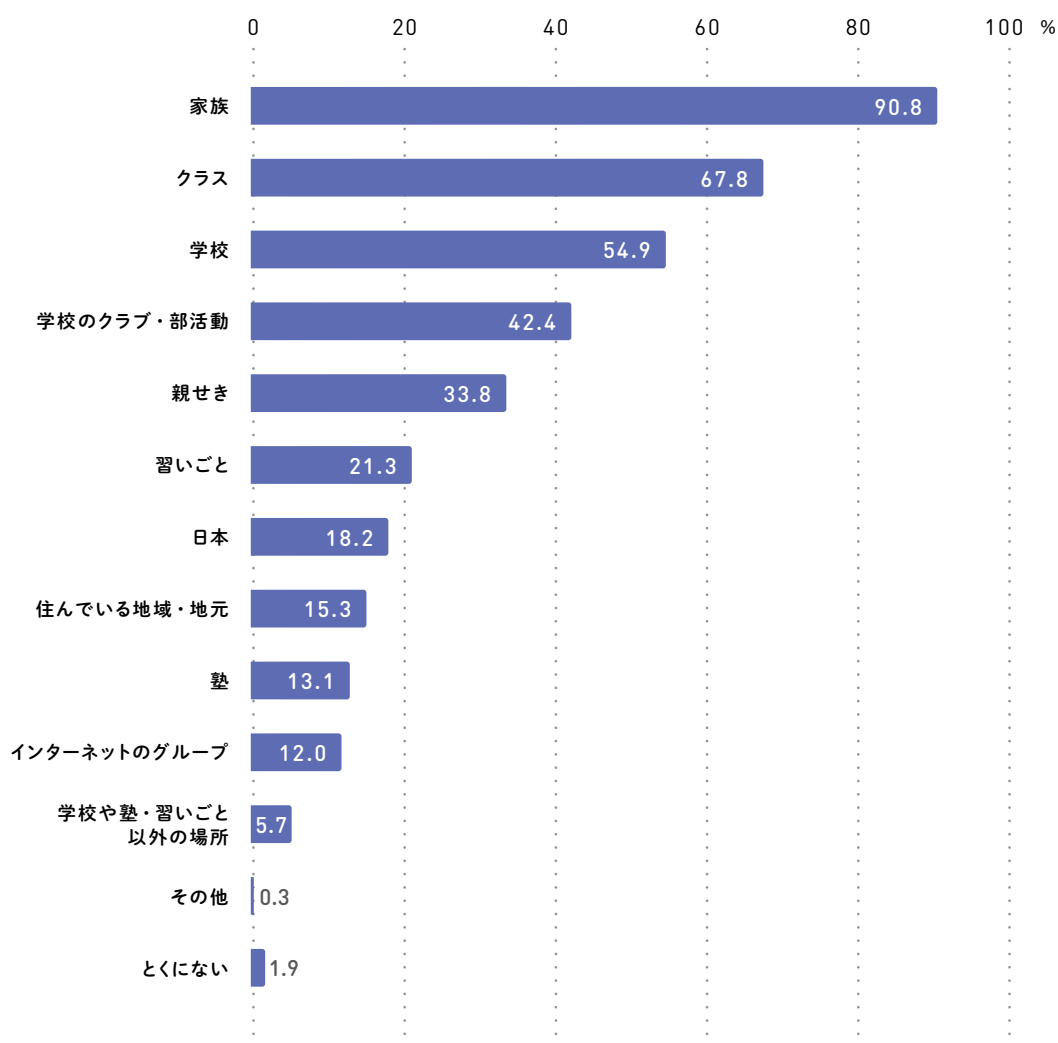
(時間)

一番のなかまは「家族」

- 「家族」の一員、なかまだと感じる子どもは9割。
- また、「学校」よりも「クラス」の一員、なかまだと感じる子どもが多く、約7割。
- 小中別で見ると、小学生は「習いごと」、中学生は「学校のクラブ・部活動」が高い。

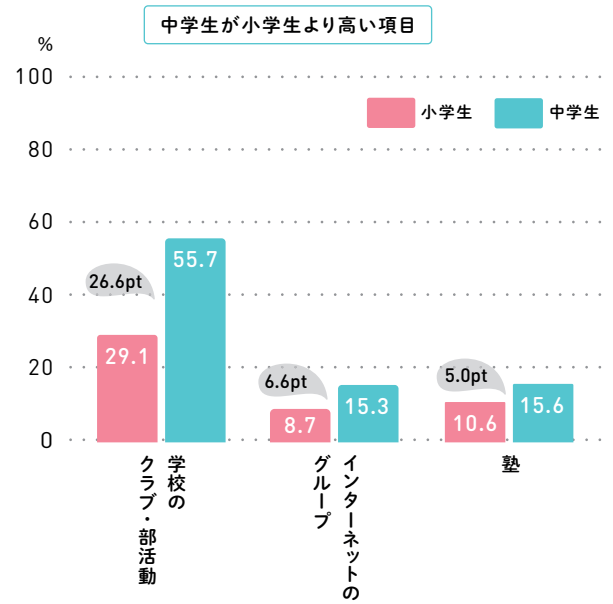
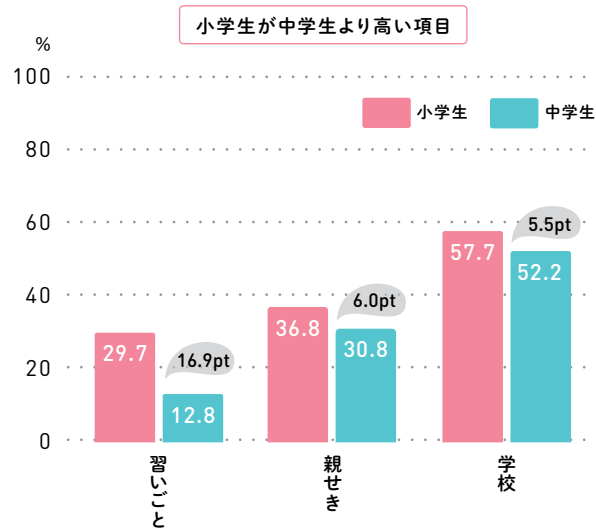
Q. あなたが「その一員、なかま」だと感じるのはどれですか。

全体

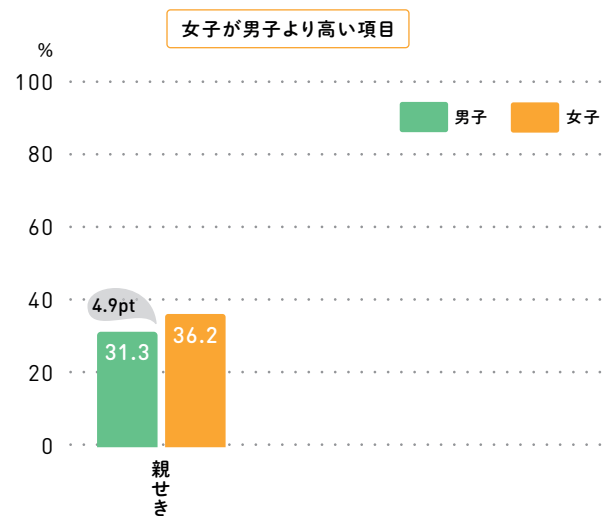
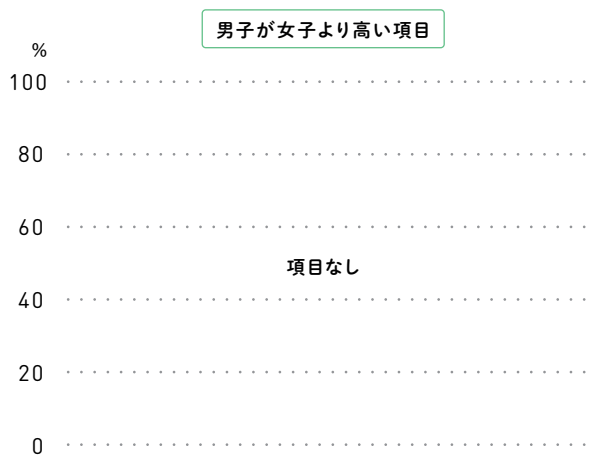




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）

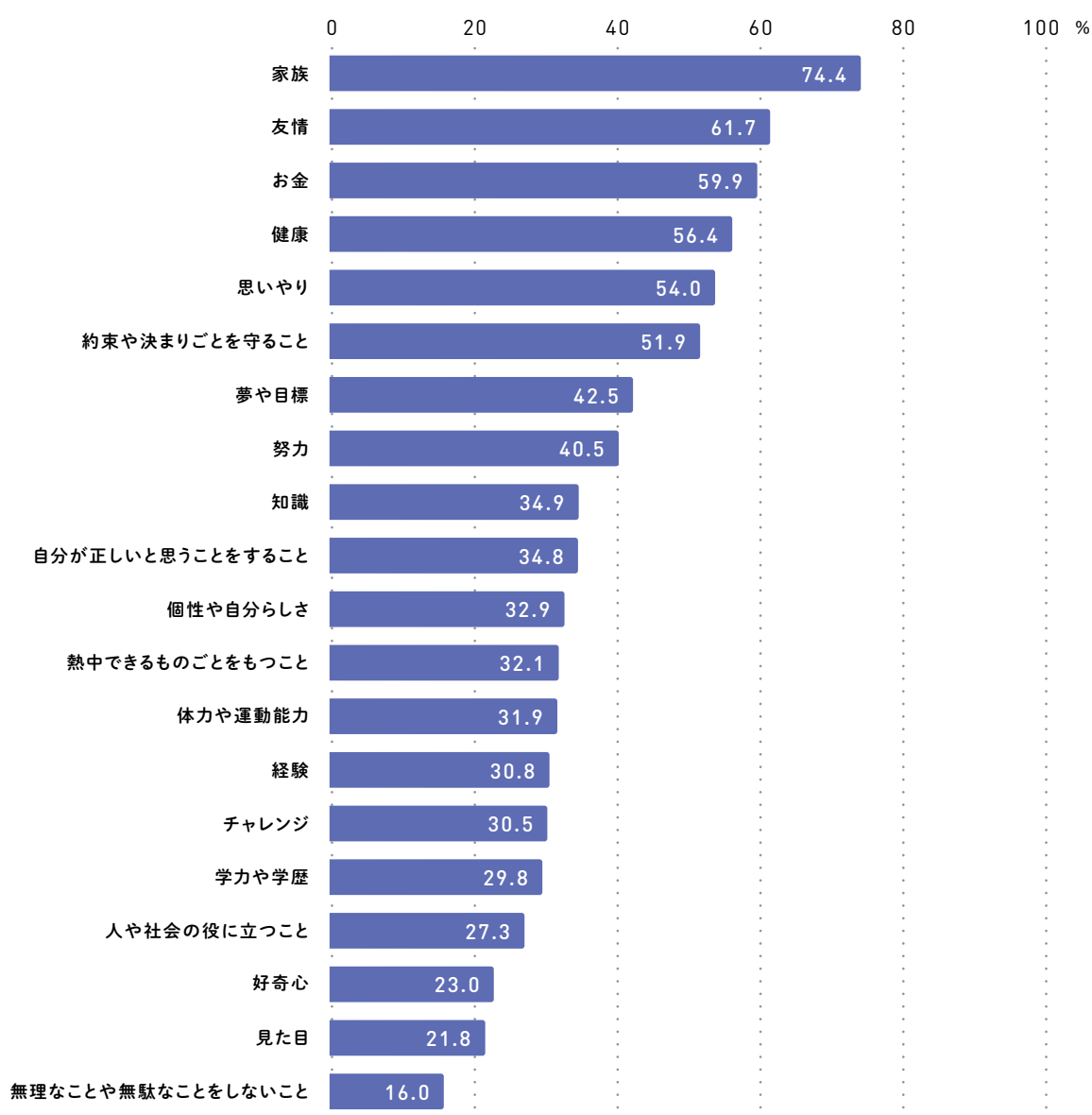


なにより「家族」が大切

- 「家族」が7割を超え、突出。
- また、「友情」よりも「家族」、「健康」よりも「お金」が上位となっている。
- 小中別で見ると、小学生は「約束や決まりごとを守る」といった他者や社会が決めたルール、中学生は「自分が正しいと思うことをすること」といった自分のルールを重視する傾向。
- 男女別では、男子は「体力や運動能力」といった身体志向に対して、女子は「見た目」といった外見志向が見られる。

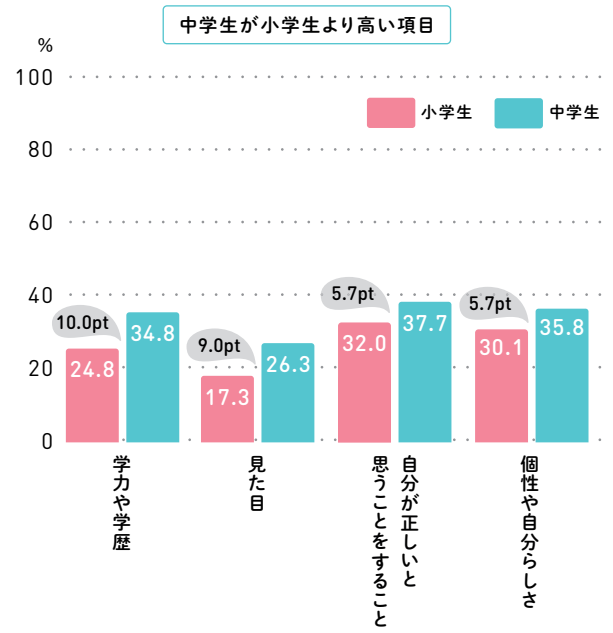
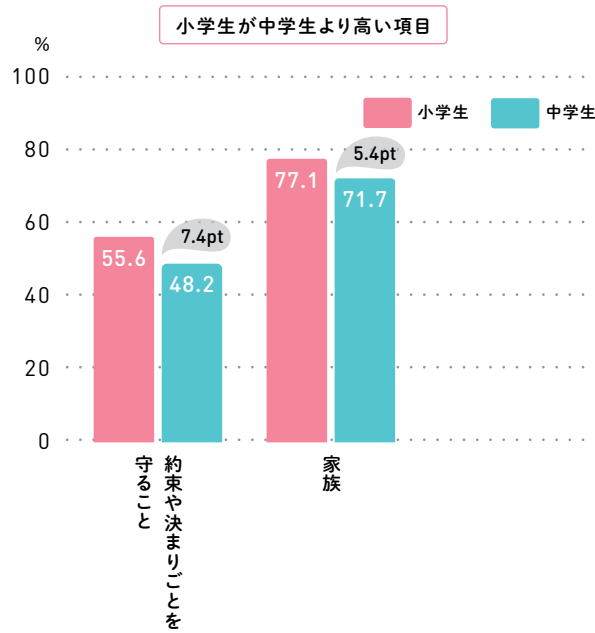
Q. あなたが大切だと思うものはなんですか。

全体

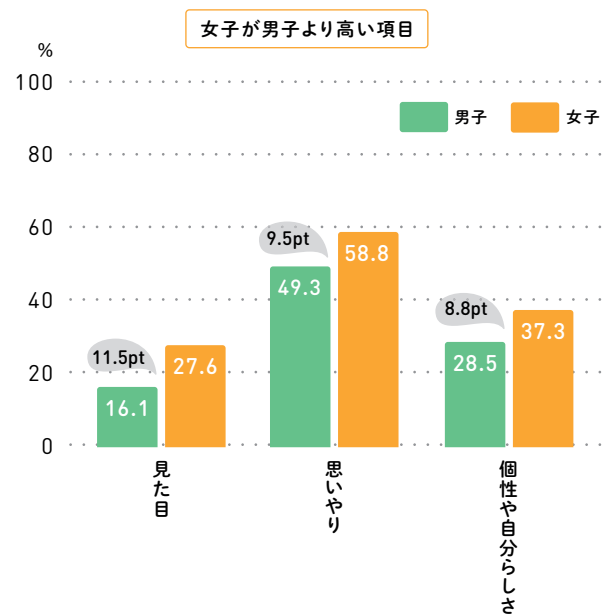
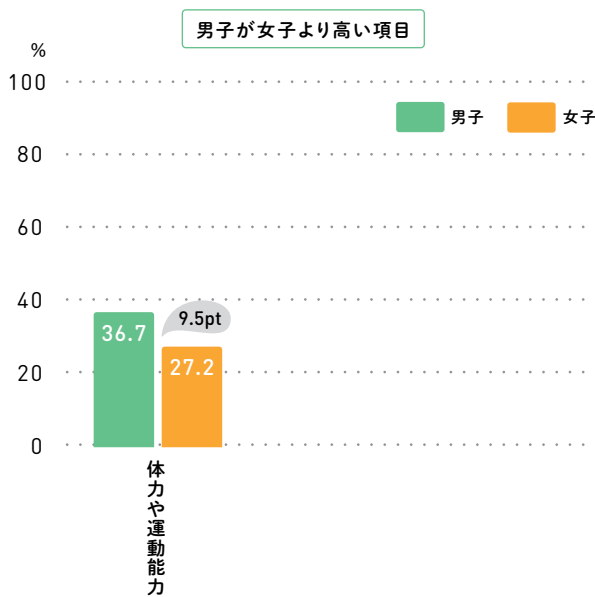




小中別（差分TOP3）



男女別（差分TOP3）

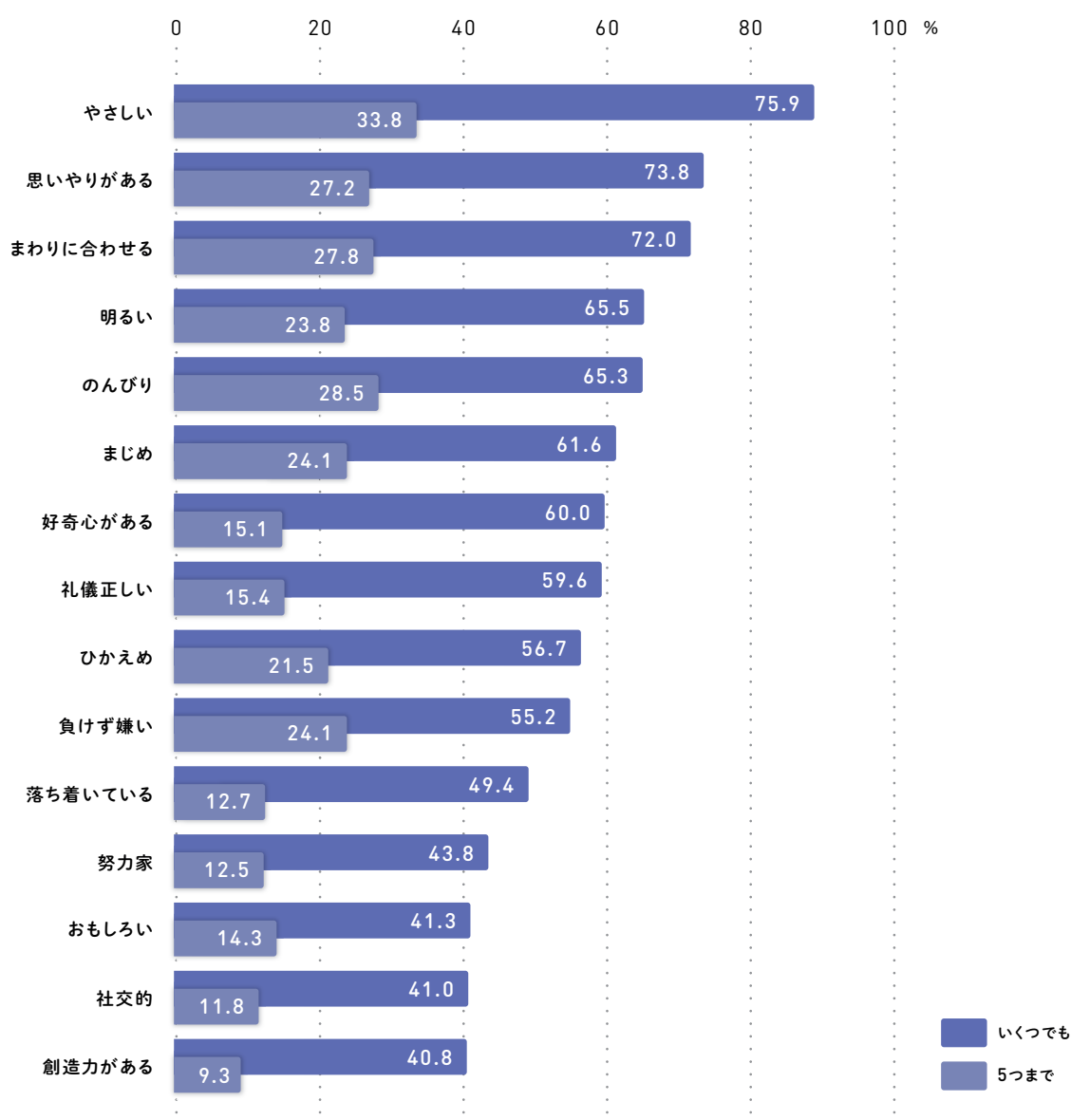


「やさしい」「思いやりがある」 「まわりに合わせる」

- 《5つまで》では、「やさしい」「のんびり」「まわりに合わせる」の順。
- 小中別で見ると、小学生は「負けず嫌い」「創造力がある」、中学生は「オタク」などがやや高め。
- 男女別では、男子の「かっこいい」に対して、女子は「かわいい」が高いなど、男女の違いも浮き彫りになった。

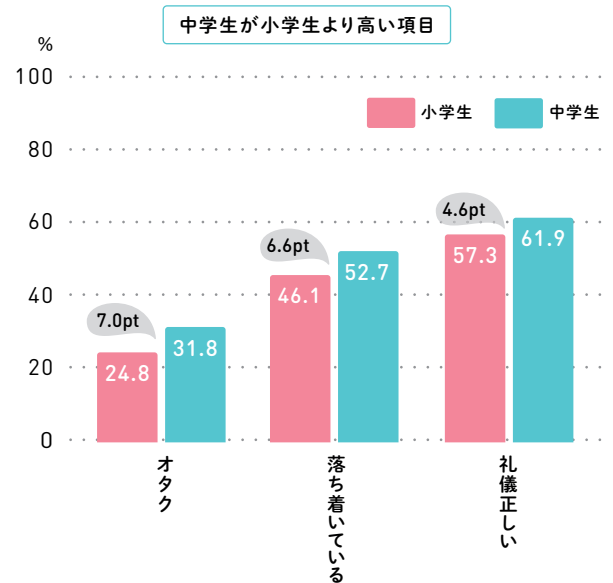
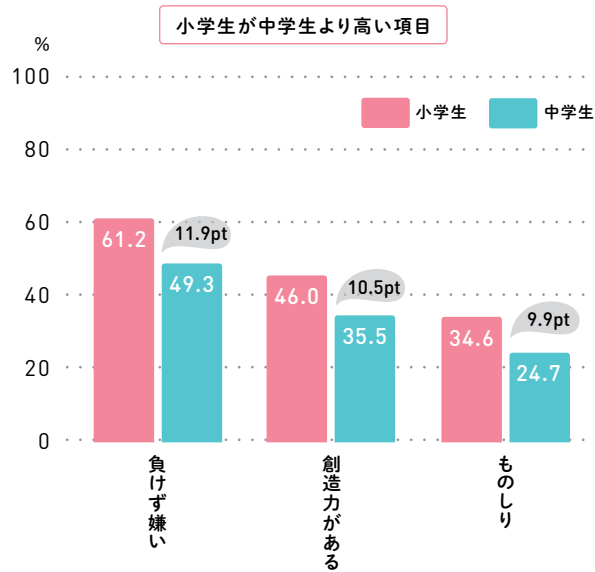
Q. いまの自分を言葉で表すと、あなたは「どんな人」ですか。

全体(《いくつでも》TOP15)

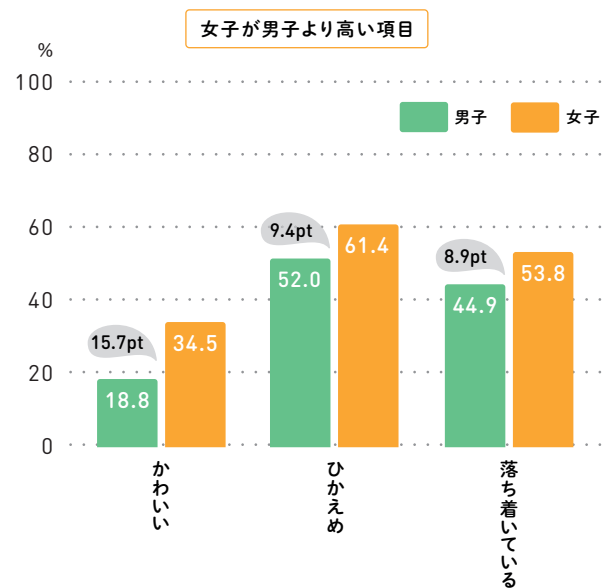
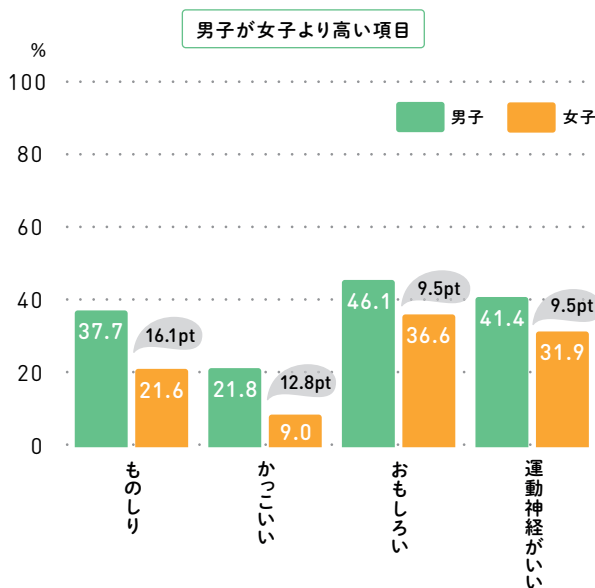




小中別（《いくつか》差分TOP3）



男女別（《いくつか》差分TOP3）

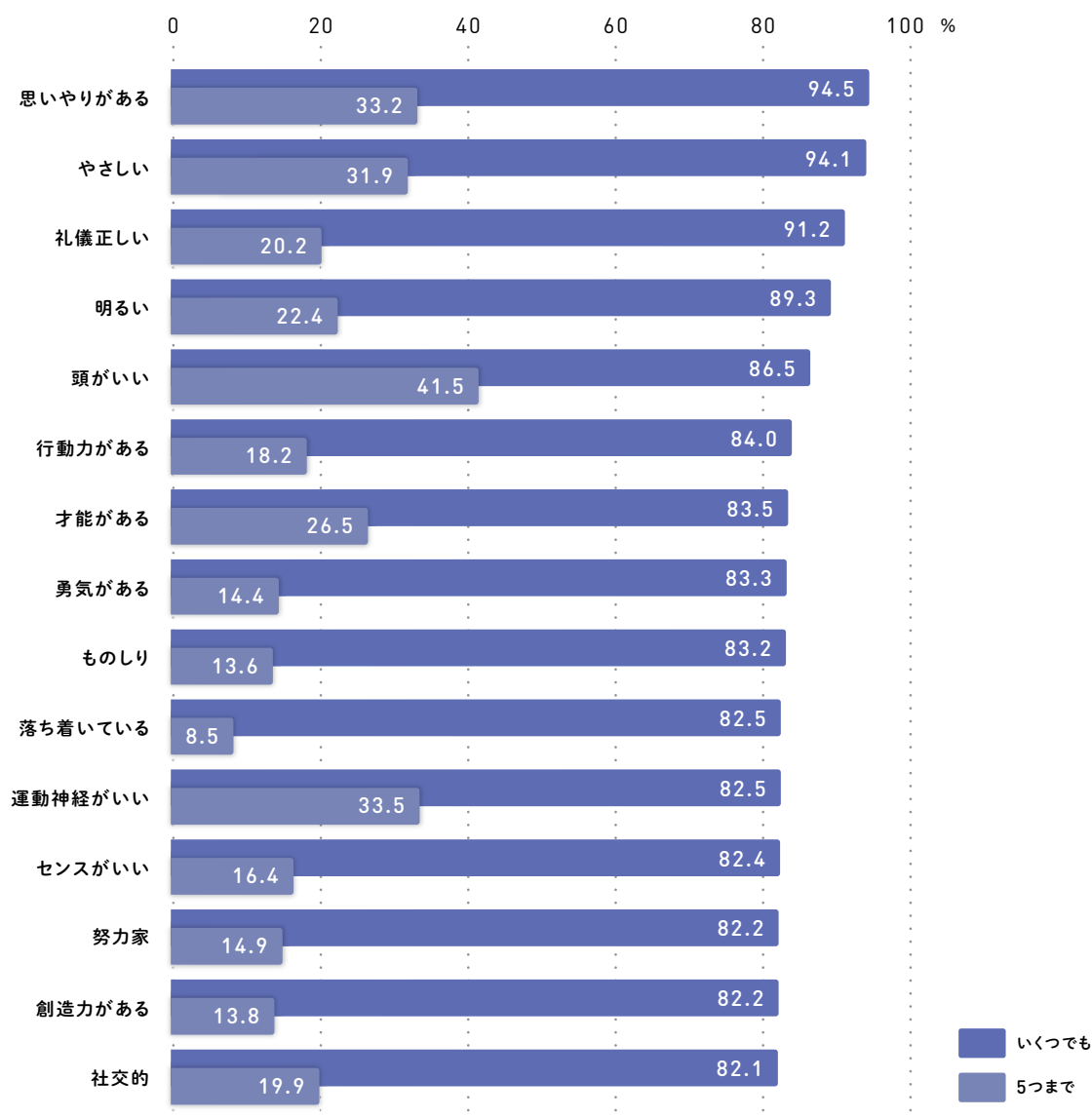


「礼儀正しい」自分になりたい

- 《いくつでも》の上位2位は、〈いまの自分〉と同様に「思いやりがある」「やさしい」。3位には「礼儀正しい」があがる。
- 《5つまで》では、「頭がいい」「運動神経がいい」「思いやりがある」の順。
- 小中別で見ると、小学生は「人気もの」「ものしり」「好奇心がある」など外向的、中学生は「ひかえめ」「オタク」「落ち着いている」など内向的な項目が高め。
- 男女別で見ると、男子は「かっこいい」、女子は「かわいい」がスコアも高く、いずれも8割前後。

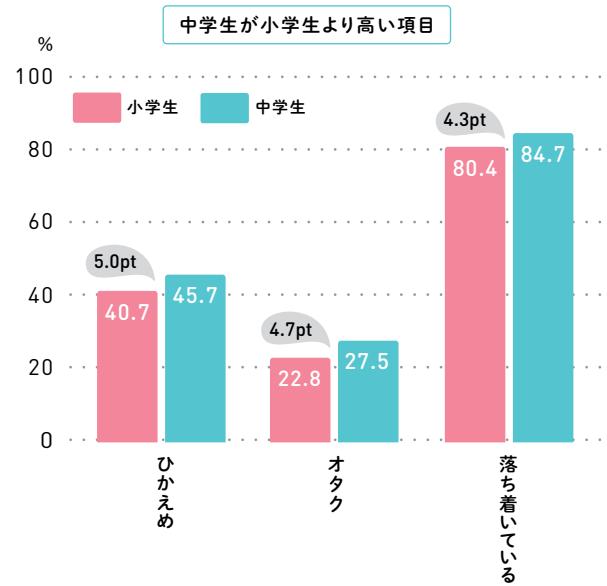
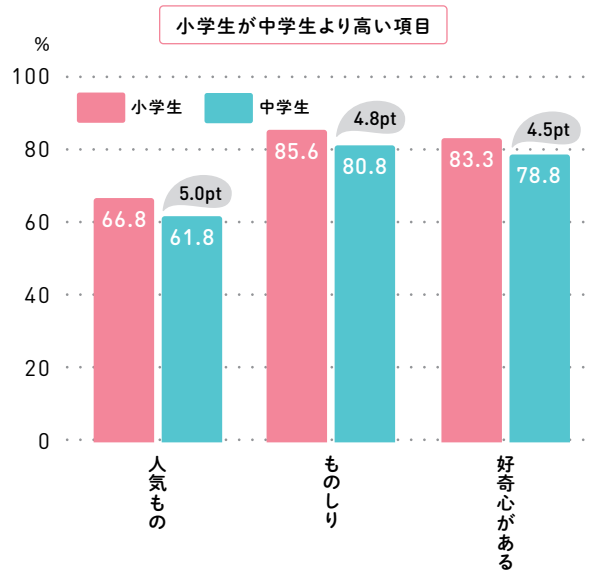
Q. あなたは「どんな人」になりたいですか。

全体(《いくつでも》TOP15)

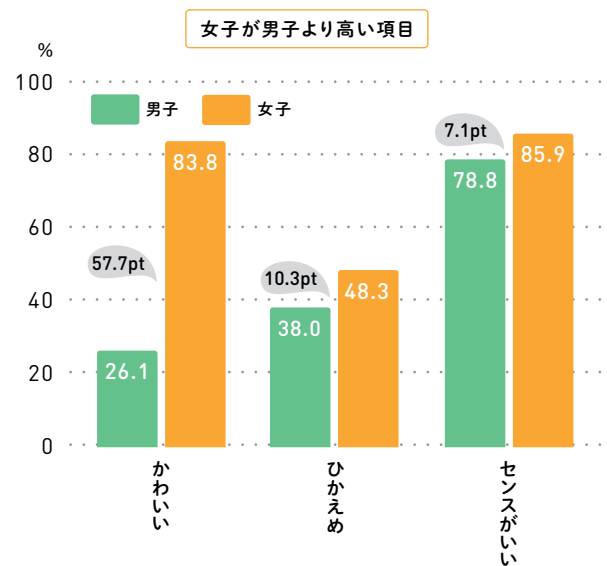
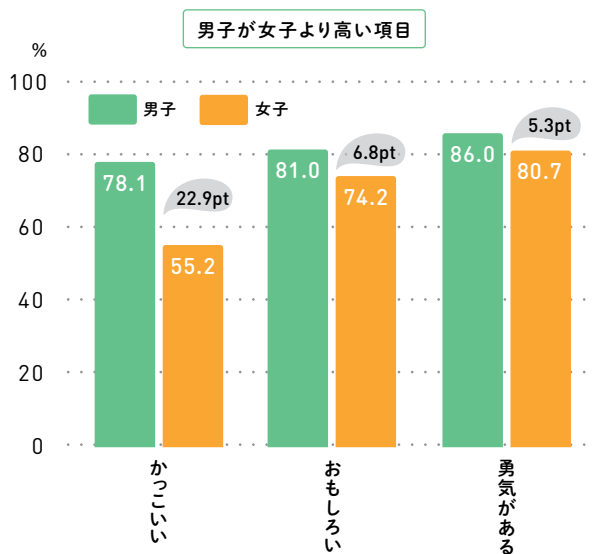




小中別（《いくつでも》差分TOP3）



男女別（《いくつでも》差分TOP3）



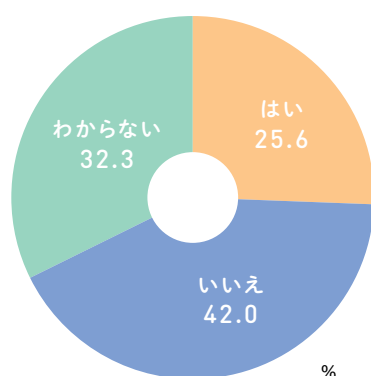
「自分に自信」、 「はい」より多い「わからない」

- 〈いまの自分に自信がある〉のは4人に1人。「わからない」は3割で「はい」を上回る。
- 一方で、〈自分には自分なりの良いところがある〉と回答した子どもは7割と多い。

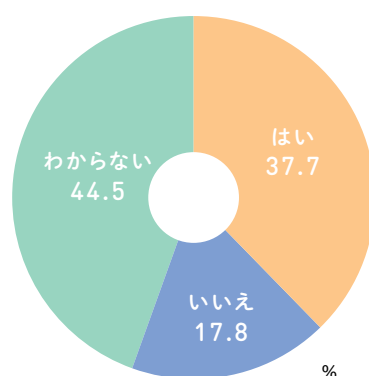
Q. あなたは自分のことをどう思っていますか。

全体

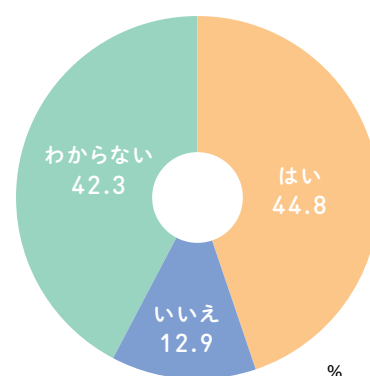
いまの自分に自信がある



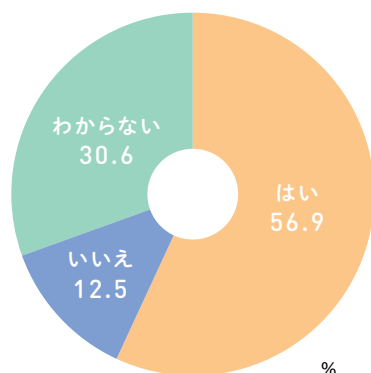
自分のやりたいことを、
自分ならうまくやれる



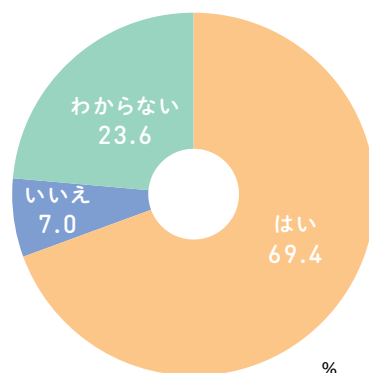
自分は誰かの
役に立っている



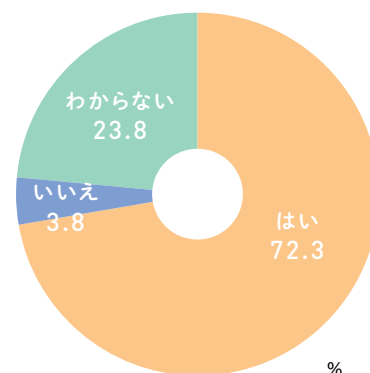
いまの自分が好き



努力すれば、努力するだけ、
よい方向に進む



自分には自分なりの
良いところがある



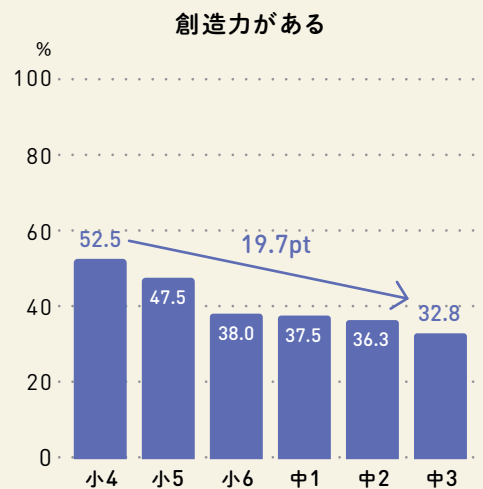
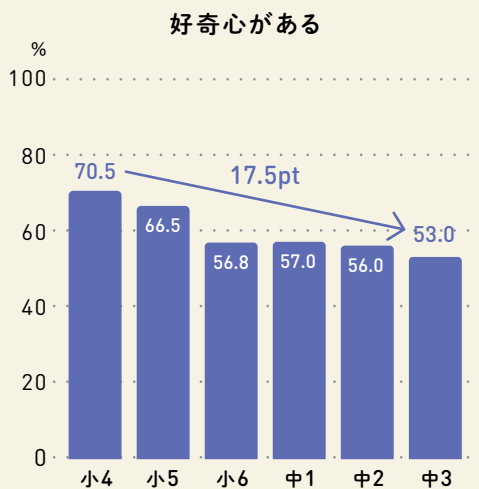
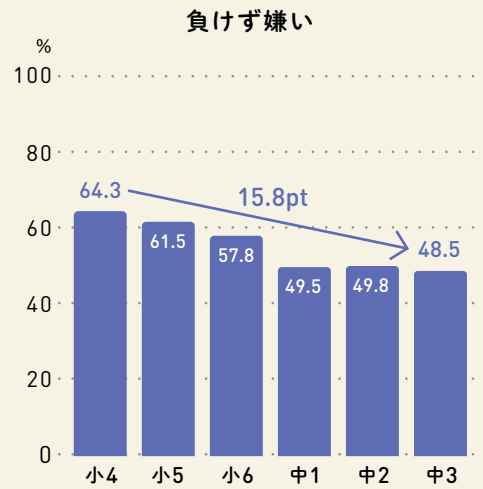
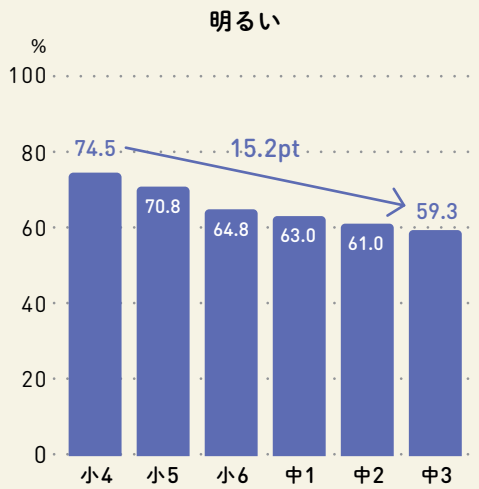
〈いまの自分〉6学年変化

“ポジティブな自分”が右肩下がり。

〈いまの自分〉が「明るい」「負けず嫌い」「好奇心がある」「創造力がある」と考える人の割合は、小4から中3でほぼ右肩下がりとなっています。成長とともに自己認識は変化して、自分に対する目も厳しくなると考えられますが、“生きる力”にもつながるポジティブな自己認識が低くなっていくのは気になるところです。



いまの自分《いくつでも》



〈なりたい自分〉と〈いまの自分〉

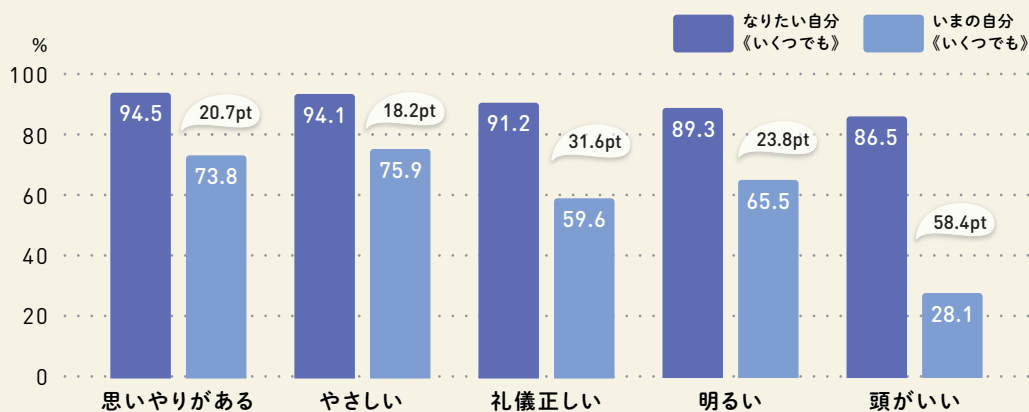
理想と現実でギャップが大きい、「頭がいい」。

〈なりたい自分〉のTOP5を〈いまの自分〉と比較すると、そのスコア差はいずれも20pt以上と大差が目立ちます。そして、特に差が大きいのが「頭がいい」で、58ptもの差があります。

また、〈なりたい自分〉について、《いくつでも》と《5つまで》を比べると、「頭がいい」「運動神経がいい」「才能がある」などの能力系の項目の順位が上がるのも興味深いところ。もっと能力を高めたい!という想いが、より切実だということでしょうか。



〈なりたい自分〉と〈いまの自分〉 ※いずれも《いくつでも》



〈なりたい自分〉《いくつでも》と《5つまで》

なりたい自分《いくつでも》

- 1 思いやりがある
- 2 やさしい
- 3 礼儀正しい
- 4 明るい
- 5 頭がいい
- 6 行動力がある
- 7 才能がある
- 8 勇気がある
- 9 ものしり
- 10 落ち着いている
- 10 運動神経がいい

なりたい自分《5つまで》

- 1 頭がいい
- 2 運動神経がいい
- 3 思いやりがある
- 4 やさしい
- 5 才能がある
- 6 明るい
- 7 礼儀正しい
- 8 社交的
- 9 人気もの
- 10 カッコいい

「自分」や「生活」の満足度は 10点満点で6点超

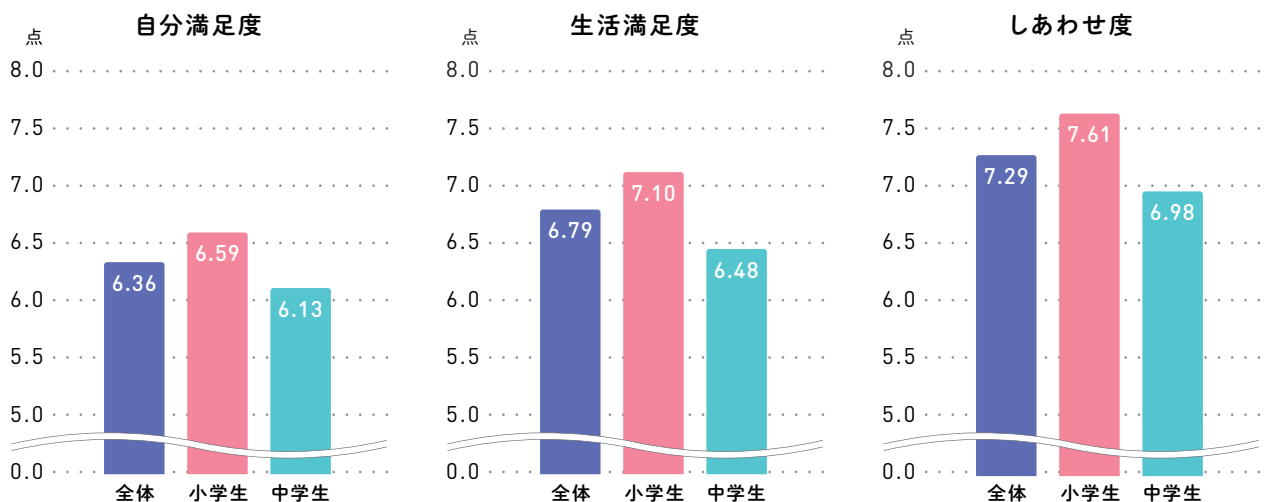
- 〈自分満足度〉〈生活満足度〉〈しあわせ度〉とも、中学生が小学生を下回る。
- 男女差は、ほぼ見られない。

Q.あなたは、自分にどのくらい満足していますか。(10点満点)

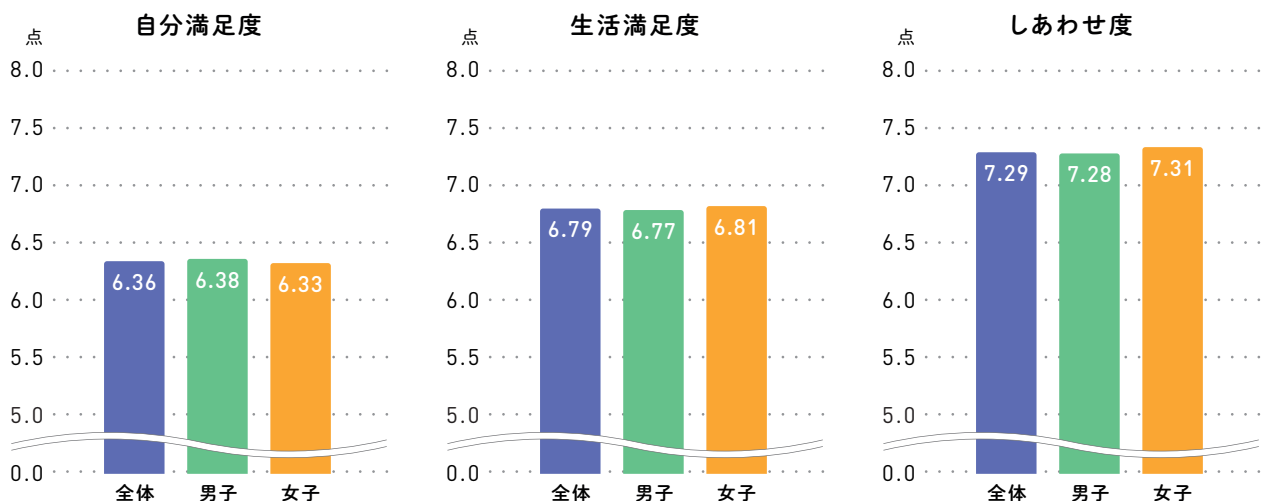
Q.あなたは、自分の生活にどのくらい満足していますか。(10点満点)

Q.あなたは、自分のことをどのくらい「しあわせ」だと思っていますか。(10点満点)

全体／小中別(平均点)



全体／男女別(平均点)



〈しあわせ度〉6学年変化

じわじわ低くなる〈しあわせ度〉。

前出の通り、〈しあわせ度〉の全体平均は7.29点。10点満点で7点は比較的高いように思えますが、こども研究所が2019年から3年間実施した同様の調査でも、毎回ほぼ同水準でした。隔週で調査している「いまの気分調査」のしあわせ点数*も、(コロナの時期を除き)100点満点でおおよそ70~80点と比較的高い点数で推移しています。

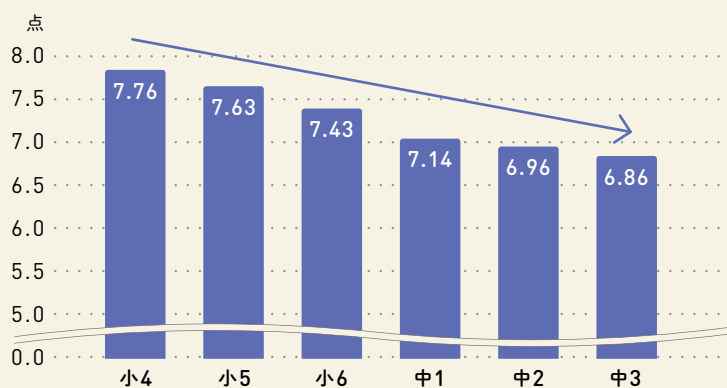
また、〈しあわせ度〉の点数が〈自分満足度〉〈生活満足度〉に比べても高いのは、自分自身や自分の生活などについて具体的に思い浮かべると多少の不満はあっても、トータルでは“特に問題はない”と感じているからでしょうか。

一方で、小4から中3までの学年別で見ると、学年が上がるごとにスコアが低くなっています。点数分布を小中で比べると、中学生は8点が最多であるのに対して、

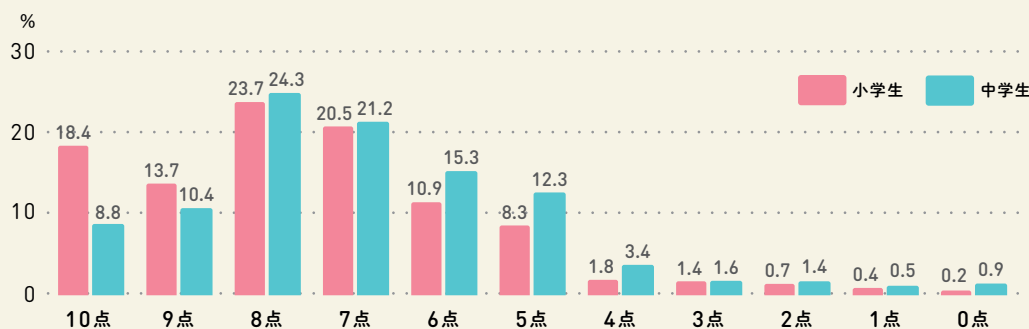
小学生は10点の高さが目立ちます。点数が低くなるのは、成長につれて困難や葛藤が増えるとともに、「しあわせ」の意味を深く捉えるようになっていくことの表れとも読み取れます。



しあわせ度(平均点)



しあわせ度(点数分布)



*博報堂教育財団こども研究所「いまの気分調査」では、小中学生男女300人に前週1週間の「できごと」や「気分」「しあわせ点数」を隔週で聴いています。 <https://kodomoken.hakuhodofoundation.or.jp/kibun/>

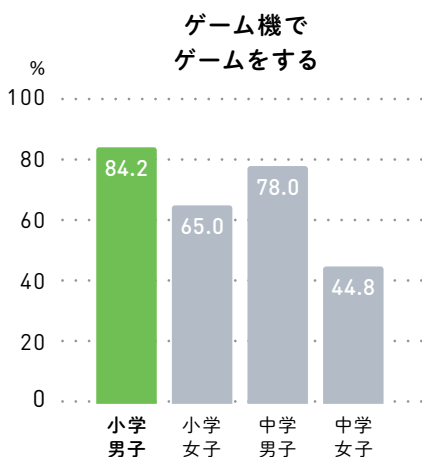
調査対象別に見る

小学生男子	小学生女子
中学生男子	中学生女子

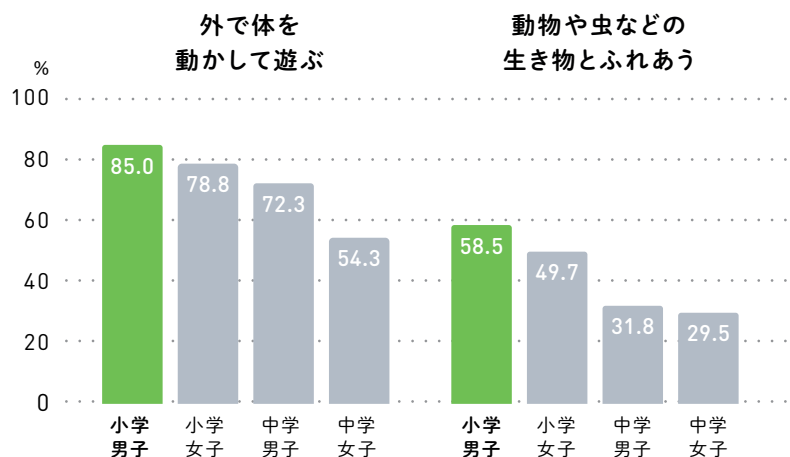
アクティブでポジティブな 小学生男子

- 小学生男子は〈よくする趣味や遊び〉の「ゲーム機でゲームをする」といったような屋内の活動が高い一方で、〈ふだんしていること〉〈これからしたいこと〉の「外で体を動かして遊ぶ」「動物や虫などの生き物とふれあう」「海や山、川など自然の中で遊ぶ」といった、屋外でのアクティブな活動が他層より高いのが特徴的。
- また、〈父との関係性〉の〈困ったことや悩みを相談できる〉が7割と突出するなど、父親との距離が他層に比べて最も近い。
- さらに、〈いまの自分〉の「おもしろい」「ものしり」「かっこいい」、〈なりたい自分〉の「おもしろい」「運動神経がいい」といった外向的な特徴が他層より高いなど、全体的にアクティブでポジティブであるようだ。

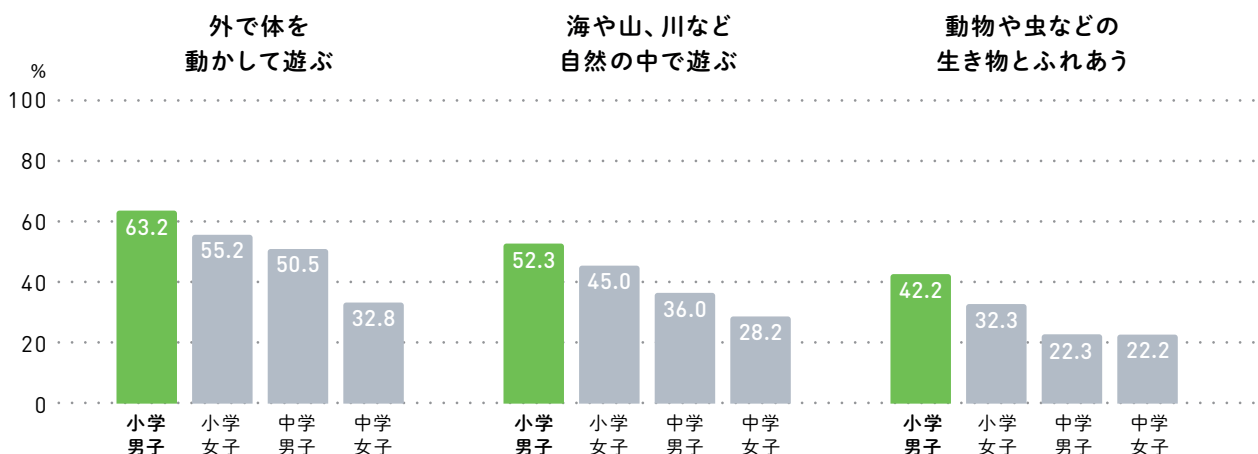
よくする趣味や遊び



ふだんしていること (よくしている+たまにしている計)

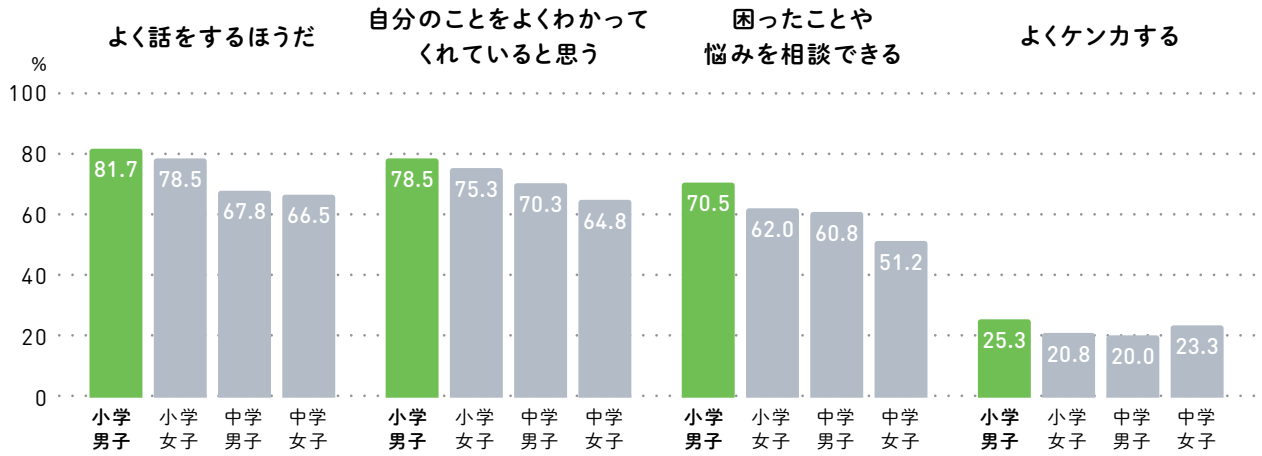


これからしたいこと

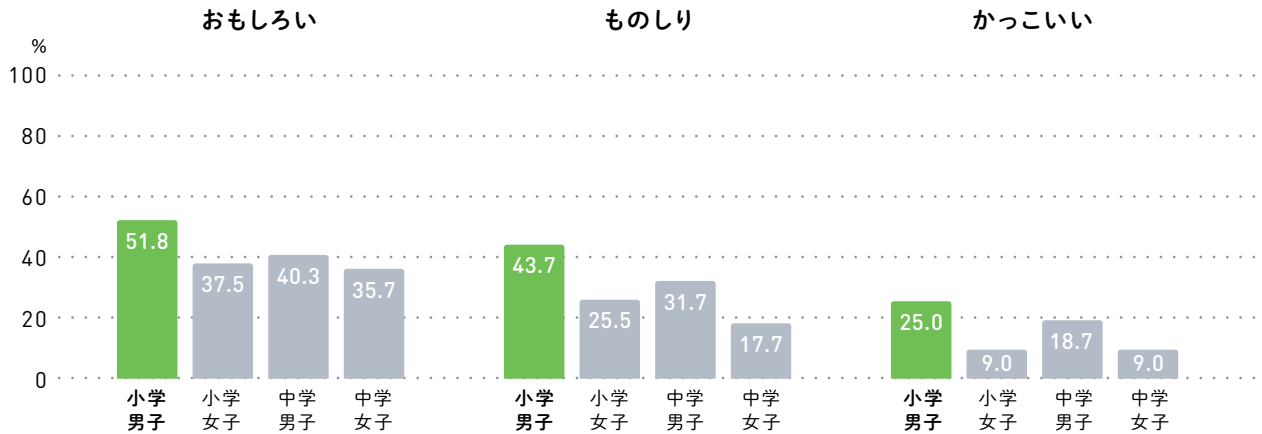


小学生男子	小学生女子
中学生男子	中学生女子

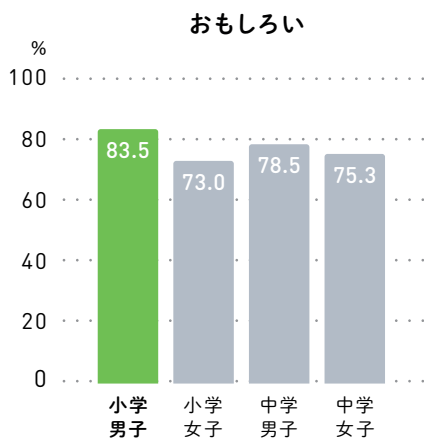
父との関係性



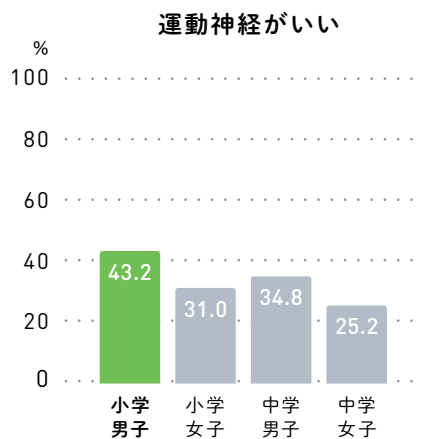
いまの自分《いつでも》



なりたい自分《いつでも》



なりたい自分《5つまで》



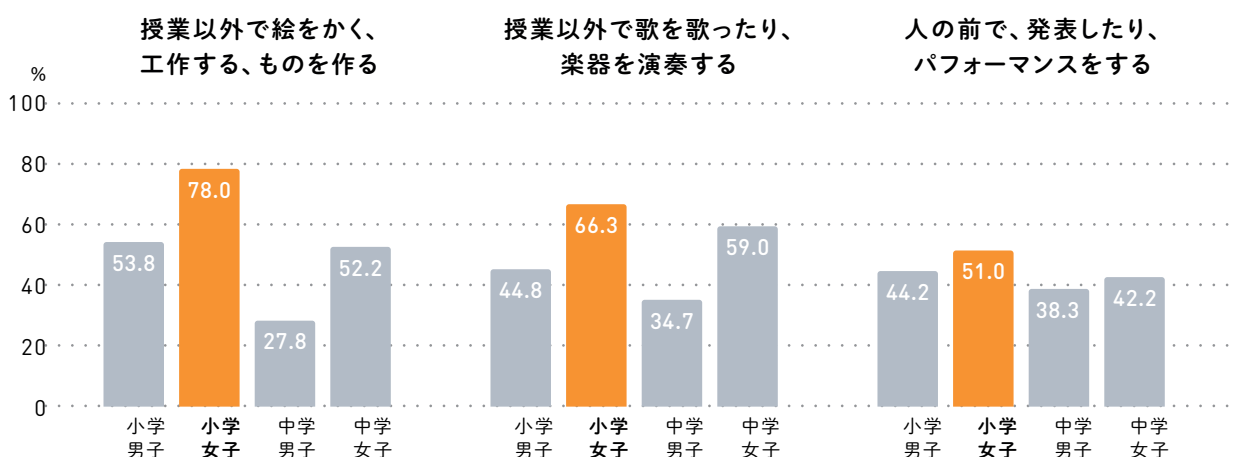
創作、読書、地域活動… いろいろやりたい小学生女子

- 小学生女子は〈ふだんしていること〉〈これからしたいこと〉のスコアが4層中最も高い項目の数が突出していることから、いろいろなことに取り組んでいる様子がうかがえる。
- 具体的に見ると、「授業以外で絵をかく、工作する、ものを作る」「授業以外で歌を歌ったり、楽器を演奏する」「人の前で、発表したり、パフォーマンスをする」などの創作・表現関連や「本を読む（マンガや雑誌以外）」「図書館に行く」といった読書関連など文化的な活動の高さが目立つ。また、「地域の活動に参加する（自治会、町内会、子ども会など）」といった地域との関わりも高い。
- さらに、「まわりの人のめんどろをみたり、気を配る」「食事のしたくや料理の手伝いをする」といった他者に気を配り、サポートすることへの意向も高い。
- 〈いまの自分〉は「思いやりがある」「まじめ」、〈なりたい自分〉は「やさしい」とする割合が高いことから、共感性が高く、物事に熱心に取り組む姿が浮かんでくる。

4層中、スコアが最も高い項目の数（全71項目中）

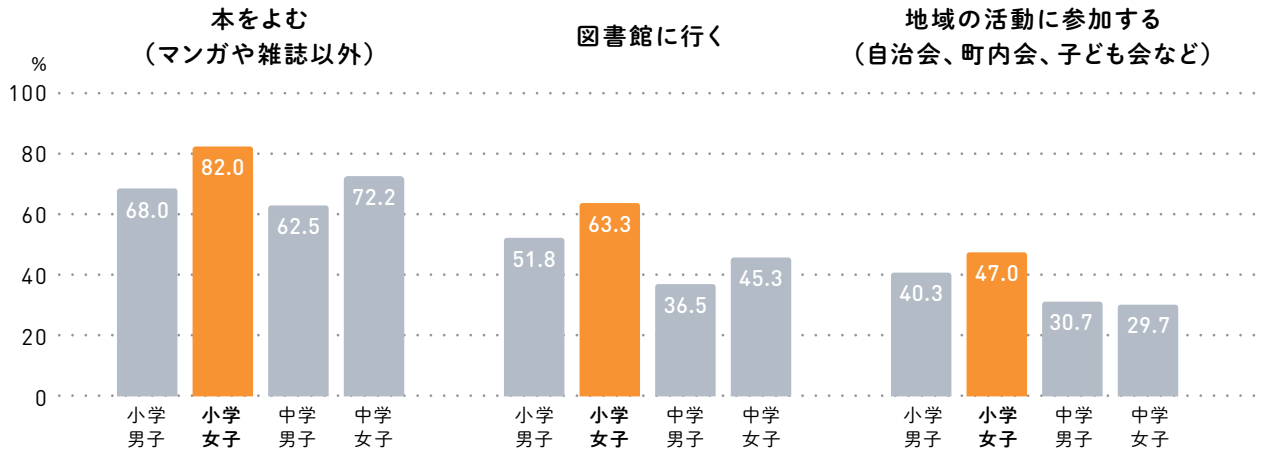
	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
ふだんしていること（よくしている）	11	33	8	22
ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）	16	27	8	25
これからしたいこと	8	40	4	19

ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）

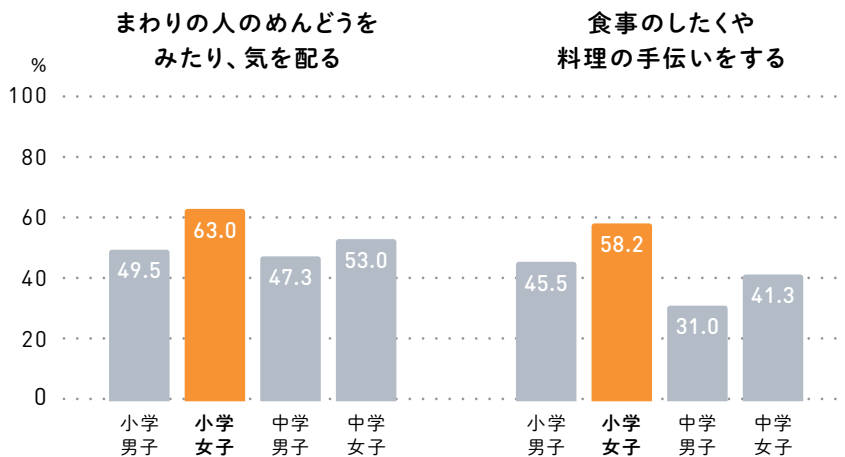


小学生男子	小学生女子
中学生男子	中学生女子

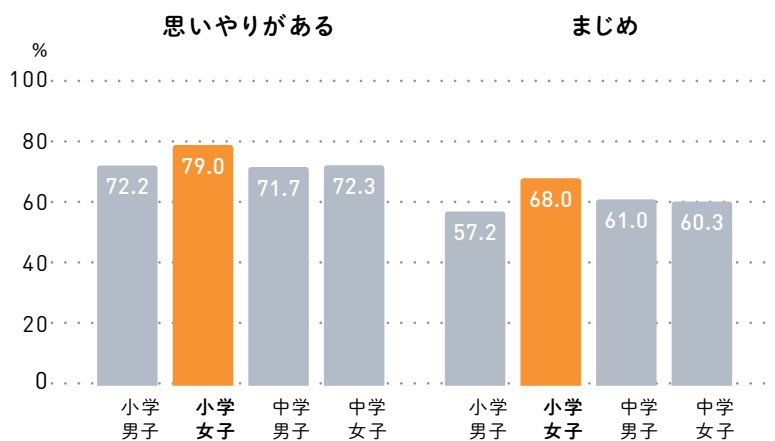
ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）つづき



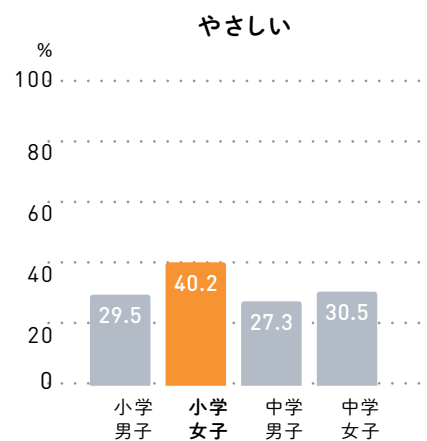
これからしたいこと



いまの自分《いくつか》



なりたい自分《5つまで》



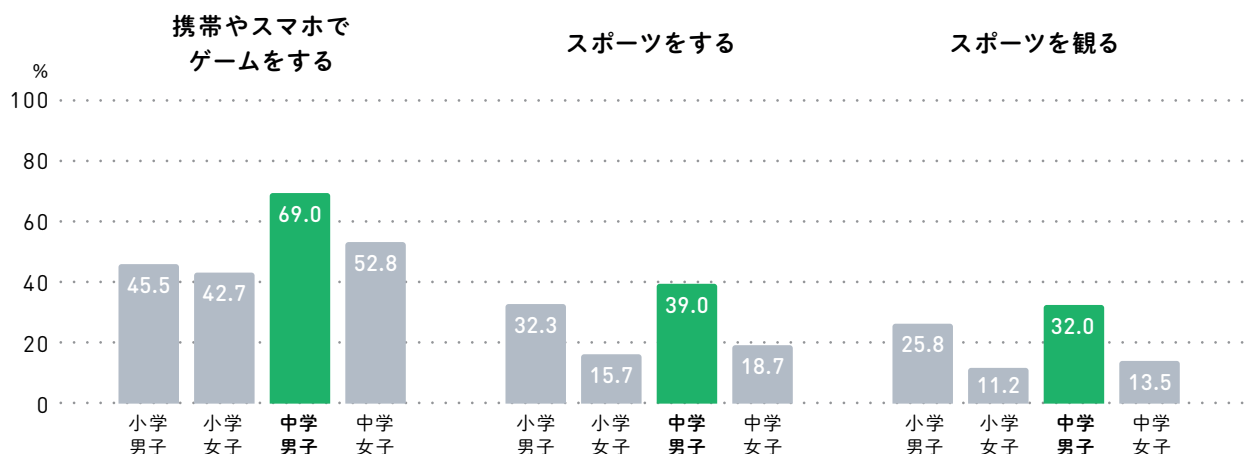
デジタル生活で忙しい、 中学生男子

- 中学生男子は小学生女子と対照的に、〈ふだんしていること〉〈これからしたいこと〉のスコアが4層中最も低い項目の数が多い。
- 他層と比べて高い項目は〈よくする趣味や遊び〉の「携帯やスマホでゲームをする」や、「スポーツをする」「スポーツを観る」といったスポーツ関連などわずか。
- 逆に、〈ふだんしていること〉の「授業以外で絵をかく、工作する、ものを作る」「遊園地やテーマパークに行く」「図書館に行く」は他層に比べてスコアの低さが目立つ。どうやら中学生男子は活動の幅が狭くなっているようだ。
- 〈ふだんしていること〉〈これからしたいこと〉のTOP10を見ると、「動画を見る」「インターネットを使う」「ゲームをする」などのデジタル関連の項目が友だち関連の項目より上位にあがる。また、「興味のあることを調べる」もランクインしていることから、ネットを駆使して興味のあることを探求する様子が見える。

4層中、スコアが最も低い項目の数（全71項目中）

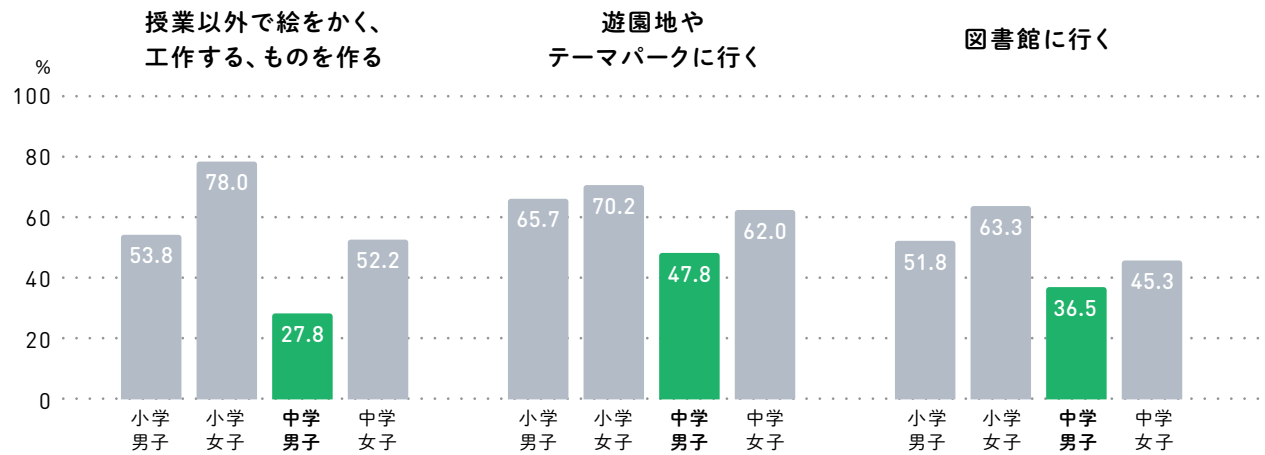
	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
ふだんしていること（よくしている）	21	8	29	17
ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）	26	5	27	16
これからしたいこと	28	0	32	13

よくする趣味や遊び



小学生男子	小学生女子
中学生男子	中学生女子

ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）



ふだんしていること（よくしている+たまにしている計）（TOP10）

全体	中学生男子
1 家族と晩ごはんを食べる	1 家族と晩ごはんを食べる
2 家族と楽しくおしゃべりする	2 インターネットを使う
3 家でのんびり休む	3 動画をみる
4 友だちと楽しくおしゃべりする	4 家でのんびり休む
5 動画をみる	5 友だちと楽しくおしゃべりする
6 家で勉強する	6 家族と楽しくおしゃべりする
7 インターネットを使う	7 ゲームをする
8 ひとりで勉強する	8 ひとりで勉強する
8 友だちと遊ぶ	9 家で勉強する
10 テレビ番組をみる	10 興味のあることを調べる
12 興味のあることを調べる	
14 ゲームをする	

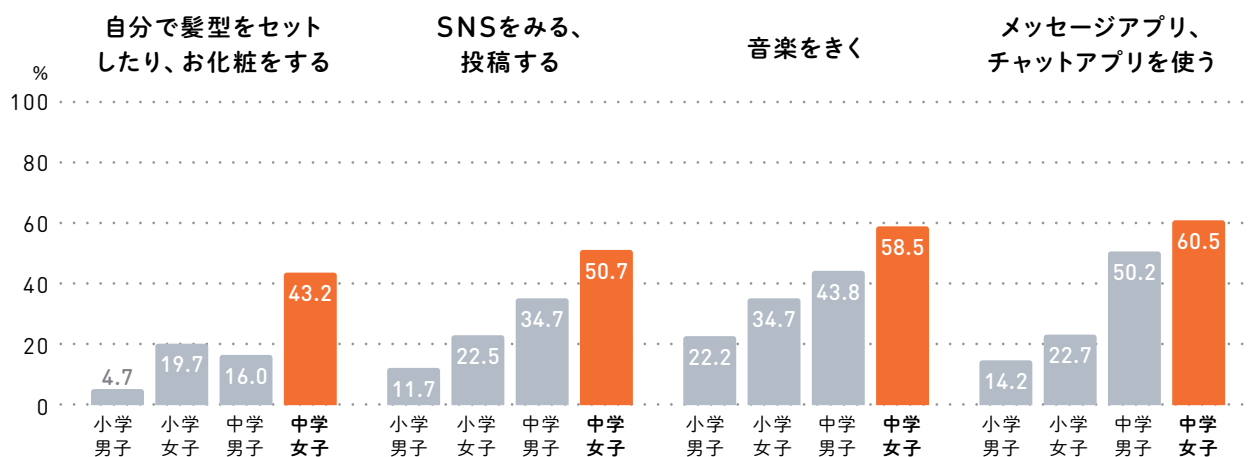
これからしたいこと（TOP10）

全体	中学生男子
1 動画をみる	1 動画をみる
2 友だちと楽しくおしゃべりする	2 インターネットを使う
3 友だちと遊ぶ	3 ゲームをする
4 家族と楽しくおしゃべりする	4 友だちと楽しくおしゃべりする
5 家でのんびり休む	5 友だちと遊ぶ
6 インターネットを使う	6 家でのんびり休む
7 ゲームをする	7 家族と楽しくおしゃべりする
8 家族と晩ごはんを食べる	7 家族と晩ごはんを食べる
9 テレビ番組をみる	9 興味のあることを調べる
10 国内旅行に行く	10 自分のお金で買い物をする
12 興味のあることを調べる	

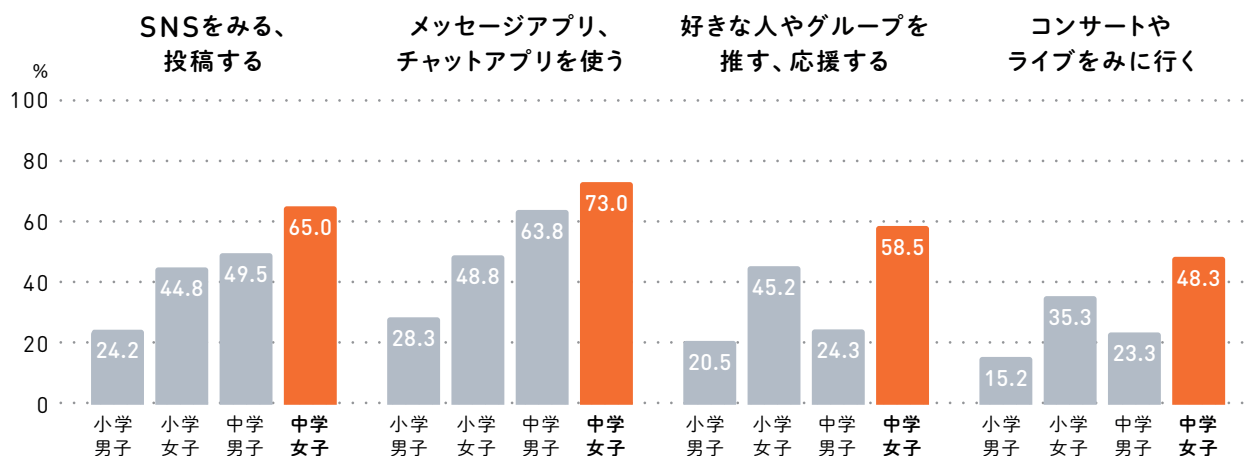
コミュニケーションや消費に 活発な中学生女子

- 中学生女子は〈ふだんしていること〉の「自分で髪型をセットしたり、お化粧品をする」といった美容関連とともに、「SNSをみる、投稿する」「メッセージアプリ、チャットアプリを使う」など、ネットを通じたコミュニケーションが他層と比べて突出しており、〈これからしたいこと〉でも高い。
- また、〈これからしたいこと〉では、「好きな人やグループを推す、応援する」「コンサートやライブをみに行く」「音楽をきく」などの趣味や、「子どもだけで、ファストフードやカフェ、ファミレスに行く」「友だちと晩ごはんを食べる」といった友だちとの飲食など、消費を伴う活動が高いのも特徴的。
- 一方で、「授業以外でスポーツをする」「海や山、川など自然の中で遊ぶ」など、体を動かすような活動に対する意向は低い。
- さらに、〈自分には自分なりの良いところがある〉〈いまの自分が好き〉などの自己評価が他層に比べると総じて低い傾向が見られる。

ふだんしていること（よくしている）

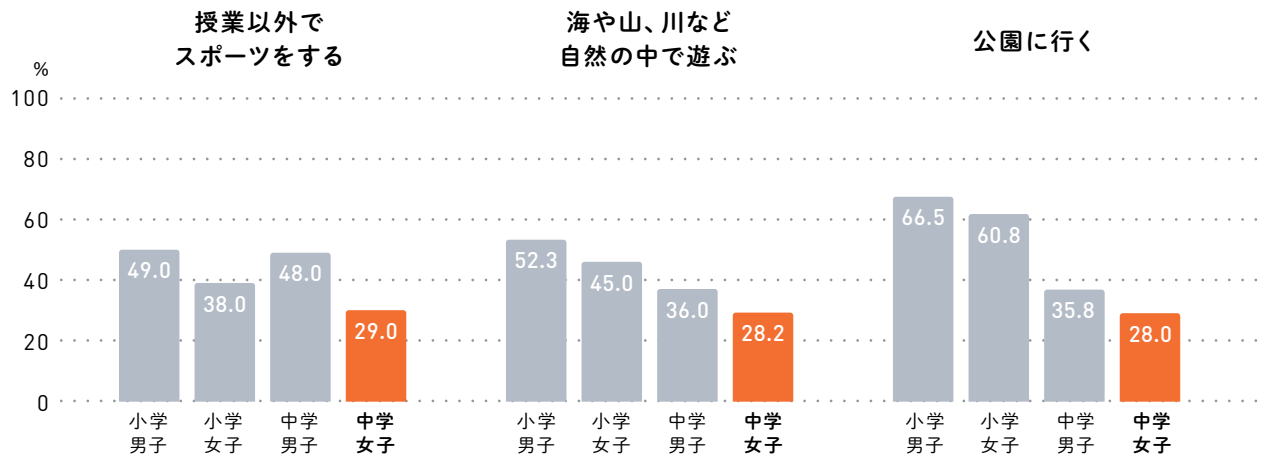
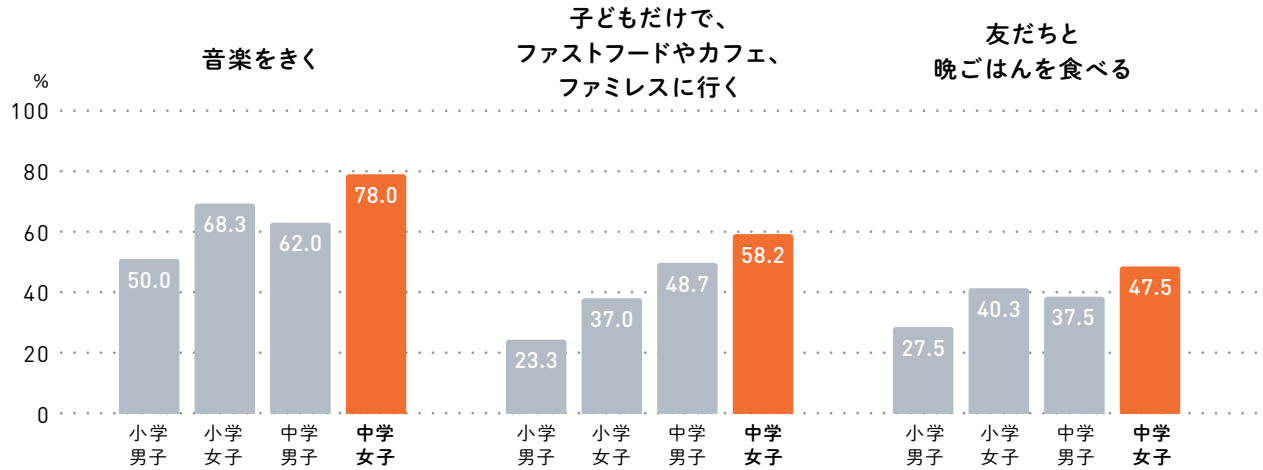


これからしたいこと

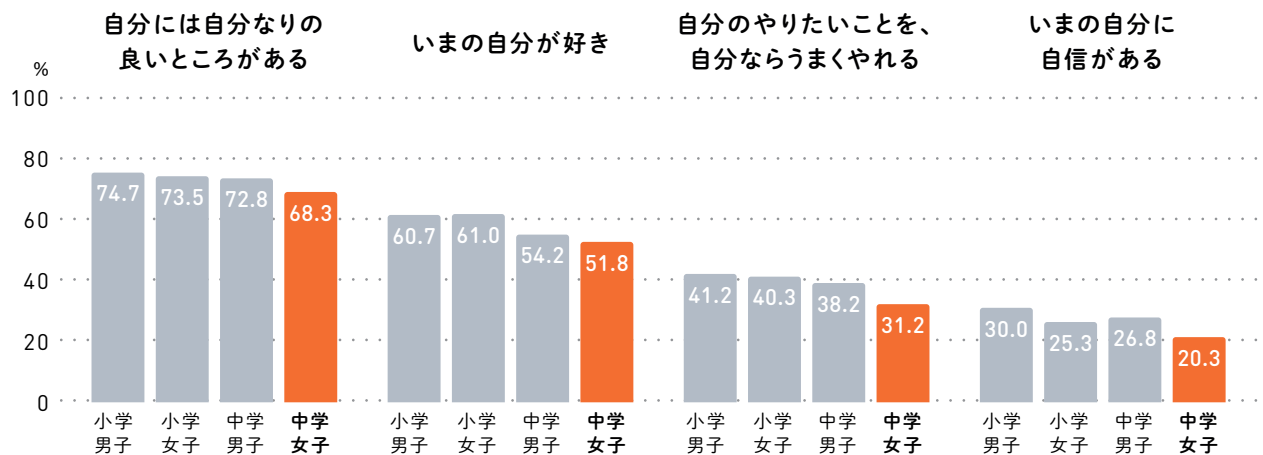


小学生男子	小学生女子
中学生男子	中学生女子

これからしたいこと つづき



自己評価



こども定点2023 調査項目リスト

- 体験 ふだんしていること
(よくしている・たまにしている)
これからしたいこと
これから一番したいこと
よくする趣味や遊び
よくするスポーツ
している習いごと
習いごとの好き嫌い
- 人との関わり ふだん接している人
好きな人
参考にする考えや意見
まわりの人との関係性
- 価値観 帰属意識
大切だと思うもの
- 自己認識 いまの自分《いくつでも》
いまの自分《5つまで》
なりたい自分《いくつでも》
なりたい自分《5つまで》
自己評価
- 総合評価 自分満足度
生活満足度
しあわせ度

こども定点2023

◎ 企画・編集

公益財団法人 博報堂教育財団 こども研究所

<https://kodomoken.hakuhodofoundation.or.jp/>

◎ 調査・分析協力

株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

夏山明美 (博報堂生活総合研究所)

◎ 編集協力・デザイン

松本哲治 (株式会社 アストラカン)

松本光代 (株式会社 アストラカン)

◎ 印刷・製本

株式会社 あさひ印刷

◎ 発行日

2024年3月31日

◎ 発行人

中馬淳

◎ 発行所

公益財団法人 博報堂教育財団

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

日比谷国際ビル14階

TEL03-6206-6266

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/>

